(単位:千円)

1 1 >12 >14 >1														
事業名	リサイクル	関連事業												
事業担当	所属	05050000	市民総務部	ß 生活玩	環境課					所属	長 井上 和成	ξ.		
会計情報	事業コード	540194	款 04 衛生	上費	項 (02 清掃	帚費	目	02 じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	158	頁
施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイク	フルとごォ	み処理	対策を推進	する	3					
計画期間	開始年度	平成15年	度 終了予	定年度	令和12	年度	関連計画	名	福知山市一般廃棄物	処理基準	本計画			
根拠法令等	廃棄物の	処理及び清	掃に関する	法律										
事業区分	□ 法定受	託事務	□ 国府補	助事業	⊿ ī	市単独	事業 🗆	内部	部庶務的事業 口 その	D他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	上/休止	□ 他事	業へ統	合	□ 他事業	を糸	· 充合	•	•		•	
関連事業				•	•				•	•			•	

事業基礎性	青報						
事業目的 (あるべき姿)	再生資源物のリサイクル・ ごみ処理過程での火災や						
対象者	全市民			対象者数	77,122	単位あたりコスト	1.1
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指第	定管理 🗆 補助金	交付 🗆	その他()
委託先·実施主体等	(社)福知山市シルバー人						
事業概要 (箇条書き)	リサイクルプラザに搬入さる施設や作業用機械等の		サイクル事業者の引き	取り条件に適る	含させるための中間処	埋を行う業務を委託	する。また、それに関す
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容		
	需用費	396	消耗品、燃料代等				
主な支出に係る	役務費	65	不法投棄ごみ処分等	経費			
業務内容と経費	委託料	82,591	リサイクル関連業務委	託			
	使用料及び賃借料他	2,527	処理機械等リース料				
	負担金補助及び交付金	55	使用済み乾電池等処	分経費			

Ⅲ 予算執行状況

	2	了 开列 (1)1		R1(評価前	[年度]		R2(評価年	F 度)		R3(本年)	隻)	R4(要3	求年度)	
	1	当初予算			85,568			86,084			89,580			95,961
予	2	補正予算			0			0			0			0
算情	3	繰越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			0
		次年度繰越			0			0			0			0
,	小言	†(① ~ ③)			85,568			86,084			89,580			95,961
予	1	一般財源			58,388			59,447			63,819			45,319
算	\vdash	国支出金			0			0			0			0
財源	3				0			0			0			0
内訳	4				0			0			0			0
D/\	(5)				27,180			26,637			25,761			50,642
決	1				0			0			0			0
決算	_	配当予算			85,568			86,084			0			0
惰報	3				84,470			85,634			0			0
	_	執行率			98.7%			99.5%						
人恢	1	(正職員/曜託職員)	0.49	/	0.00	0.29	/	0.00	0.29	/	0.00	0.00	/ (0.00
工算	2	概算人件費			3,920			2,320			2,320			0
		タルコスト 対象+概算人件費)			88,390			87,954			2,320			0
	+ +	一生		空き缶				物品売払収入			10,38	2	36	
		利用特財 年度実績値)	特財名称	有償入札	拠出金		種類	雑入		実績金額	5,24	決算付属資料	48	頁
				金属くず				物品売払収入			96	1	36	

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	リサイクル率		%	17.3 / 22.6	16.4	/	25.3	14.7	/	26	/	16	26
実績/目標				/		/			/		/		
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	リサイクル量(中間処理分)	t	2,541 / 2,346	2477	/	2298	2107	/	2254	/	2167	2254
(アウトプット)		単位あたり	コスト	27.6		34.1			40.6				
実績/計画				/		/			/		/		
		単位あたり	コスト										

項	目	、事 来 担 当 所 偶 内 による目 亡 評 評価の観点	評価	評価の理由
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた		・資源ごみのリサイクル化を促進することは、市民のごみ分別意識を高め、埋立処分場の延
		事業か		命化につながるため、必要性が高い。
必要	性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。
効 率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		・成果目標については「未来創造福知山」基本計画及び一般廃棄物処理基本計画で設定し
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・活動実績は見込みを下回った。
有效	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	Δ	
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
		一般廃棄物処理基本計画で示しているリサ のリサイクル化施策の実行を促進させる必		日標を達成するために、ごみの減量化及び分別排出の精度を高める啓発に努め、基本計画
古書の日	Ah Th TĈ			
事業の目指標等の達	成状況に			
対する定性	生的計画			
				・分別排出の精度向上の啓発や、バイオマス燃料化等の取り組み等、効率的かつ適正な内容 ついては、今後、国から提示される廃プラ処理方針に基づき、方策を進める。
		ことなるよう制度検討する。フラステックにかり	ノ貝 /駅161〜	プい Cは、7 後、国かり使小される魔ノノ処理力到に塞っさ、万束を進める。
これまでの	課題及び			
今後のプ				
	次評価((事業所属外による他部署評価)	
事後評価	コメント			
 VII 評/	価をふま	<u> </u> えた次年度事業方針		
VIII		方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当記	単の	□ 事業の見直し		
事業の	見直し	□ 統合/組換		
及(予算要求		□廃止/休止		
		☑ 事業の見直しなし		
	算反映網	· 結果		
		□ 現状維持 □ 廃止/休止	☑予	算拡充 □ 予算縮減
予算反映	大和呆	ロ ル 古 世 ナ 休 A (休 A 東 世 A)) 口 ll. 古 # - 4+ 人 (4: △ / + + + + 人)

(単位:千円)

1 1 1/2/14/10													
事業名	廃棄物処理	里施設等運	転管理委託	事業									
事業担当	所属	05050000	市民総務部	3 生活環境	意課				所属	長 井上 和成	ţ		
会計情報	事業コード	540172	款 04 衛生	費	項 02	清掃費	目	02 じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	158	頁
施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクル	とごみ気	処理対策を推進	する	5					
計画期間	開始年度	平成28年	度 終了予	定年度 令	和12年	度 関連計画:	名	福知山市一般廃棄物	処理基:	本計画			
根拠法令等	廃棄物のタ	処理及び清	掃に関する	法律、容器	リサイク	クル法、ダイオキ	シ	ン特別措置法					
事業区分	□ 法定受	託事務	□ 国府補	助事業	☑ 市单	単独事業 🗆	内部	部庶務的事業 口 その	D他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	上/休止	□ 他事業	へ統合	` □ 他事業	を糸	· 在合		•		•	
関連事業													

事業基礎	 青報						
事業目的 (あるべき姿)	環境パーク内のごみ焼却により、搬入された可燃・収資源の還元による省資	不燃ごみ及び資源	ごみ等の焼却処理、資	源化及び減量	化を行なうとともに、す		
対象者	全市民			対象者数	77,122	単位あたりコスト	1.9
実施方法	□ 直接実施 ☑ 業績	務委託 □ 指別	定管理 🗆 補助金	交付 🗆	その他()
委託先·実施主体等	株式会社ファノバ 福知山	I営業所					
事業概要 (箇条書き)	・焼却施設、リサイクルプ・ 持管理を今後も行う。 ・3ヵ年の長期継続契約と			可)の運転管理	を委託し、業者のもって	ている専門的な知 識	を生かして、安定した維
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	!	
	委託料	142,560	ごみ焼却施設、リサイ	クルプラザ及び	が市内4か所の埋立処	分場施設の運転、	点検管理
主な支出に係る							
業務内容と経費							
		·					

Ⅲ 予算執行状況

	Þ	3 分		R1(評価前	(年度)		R2(評価年	度)		R3(本年)	麦)	R4(要3	求年度)	
	1	当初予算			148,665			142,560			145,002		1	79,722
予	2	補正予算			0			0			0			0
算情	3	繰越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			0
		次年度繰越			0			0			0			0
	小言	†(①~ ③)			148,665			142,560			145,002		1	79,722
予	1	一般財源			39,974			36,638			0			0
算財	2	国支出金			0			0			0			0
源	3				0			0			0			0
内	_	地方債			0			0			0			0
訳	(5)	その他特財			108,691			105,922			145,002		1	79,722
決	1	流充用額			△ 4,082			0			0			0
決算	_	配当予算			144,583			142,560			0			0
惰報	3	執行額			139,175			142,560			0			0
TIA.	_	執行率			96.3%			100.0%						
人概	(1)	(正職員/曜託職員)	0.05	/	0.00	0.05	/	0.00	0.05	/	0.00	0.00	/ 0	0.00
工算	2	概算人件費			400			400			400			0
		タルコスト 〒額+概算人件費)			139,575			142,960			400			0
	<u> </u>	×±11 00 4+ 0±		一般廃棄	物手数料			衛生手数料			71,28	0	14	
		注利用特財 年度実績値)	特財名称	産業廃棄	物手数料		種類	衛生手数料		実績金額	71,28	0 決算付属資料	14	頁

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	公害防止協定、	協定値の遵守		協定値以下	協定値以下	/	協定値以下	協定値以下	/	協定値以下	/	協定値以下	協定値以下
実績/目標				/		/			/		/		
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	廃棄物処理量		t	22,708/ 25,020	24689	/	24620	23750	/	24584	/	24391	完全処理
(アウトプット)		単位あたり	コスト	6.1		5.6			6.0				
実績/計画				/		/			/		/		
		単位あたり	コスト										

「項		、争 耒 担 当 所 禹 内 による目 □ ミ 評価の観点	すべ回り 評価	評価の理由
枳			AT IM	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であるため、焼却処理において、法令の遵守
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保した。
必	要 性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な整備 を行うことで、施設の延命化をすることにより可能なコスト縮減、効率化を図った。
効	率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアした。 ・活動実績はごみ処理量としているが、計画量を下回った。 ・有効な技術等を常に研究し、運転管理に係る技術力の向上を図った。
有	効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
				『発生する燃やすごみの安定かつ適正な「廃棄物処理」が行なえた。 除去を行ない法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。
	目的及び			
	達成状況に 定性的評価			
		 廃棄物処理を安定かつ適正に処理を行な	うとともに、る	らに効率化と経費の削減を図る。
	の課題及び の方向性			
VI -	二次評価([事業所属外による他部署評例 	西)	
車後輕	【価コメント			
TKII	- IM-1/21			
· IV	平価をふま	 えた次年度事業方針		
	·	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
相当	当課の	□ 事業の見直し		
事業	の見直し	□統合/組換		
	及び 要求方針	□ 廃止/休止		
		☑ 事業の見直しなし		
VIII 3	予算反映 線	岩果		
予算日	反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	☑予	算拡充 □ 予算縮減
, 754		□ 他事業を統合 (統合事業名: -) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: 一)

(単位:千円)

1 1 2/2/14/10														
事業名	ごみ収集道	運搬事業												
事業担当	所属	05050000	市民総務	部 生活環	環境課					所属	長 井上 和成	ţ		
会計情報	事業コード	540171	款 04 衛	生費	項	02 清排	帚費	目	02 じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	158	頁
施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイク	ルとご	み処理	対策を推進	する	3					
計画期間	開始年度	昭和57年	度終了	定年度	令和1	2年度	関連計画	名	福知山市一般廃棄物	処理基:	本計画			
根拠法令等	廃棄物の	処理及び清	掃に関する	法律										
事業区分	□ 法定受	託事務	□ 国府ネ	助事業	Ø	市単独	事業 🗆	内部	部庶務的事業 口 その	D他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃.	止/休止	□ 他事	業へ約	充合	□ 他事業	を糸	· 在合		•			
関連事業			•	•		•	•			<u> </u>	•			

── 事業基礎付	 青報						
事業目的 (あるべき姿)	市民1人当りのごみ排出」 の分別収集を確実に行い			れる家庭系廃業	棄物(可燃、不燃、容器	包装プラスチック、	資源ごみ、粗大ごみ等)
対象者	全市民			対象者数	77,122	単位あたりコスト	6.2
実施方法	□ 直接実施 ☑ 業績	務委託 □ 指5	定管理 🗆 補助金	交付 🗆	その他()
委託先•実施主体等	株式会社福知山クリーン・	センターほか6者					
事業概要 (箇条書き)	安定的で円滑な収集運搬 ごみステーションの収集: 粗大ごみ等収集:2者				ī·経験を有する業者へ	委託する。	
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	!	
	委託料	473,383	収集運搬委託				
主な支出に係る							
業務内容と経費							

|| 予算執行状況

	Σ	了 对 秒 (1) 1		R1(評価前	(年度)		R2(評価年	F 度)		R3(本年)	変)	R4(要	求年度)	
	1	当初予算			462,312			476,184			474,072			474,070
予	2	補正予算			0			0			0			0
算情	3	繰越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			0
		次年度繰越			0			0			0			0
,	小言	†(1)~ 3)			462,312			476,184			474,072			474,070
予	1				306,736			301,645			329,848			363,344
算	\vdash	国支出金			0			0			0			0
財源	3				0			0			0			0
内訳	4		155 576					0			0			0
745	(5)		155,576					174,539			144,224			110,726
決	1				0			△ 49			0			0
決算	_	配当予算			462,312			476,135			0			0
情 報	3				462,309			473,383			0			0
-	_	執行率			100.0%			99.4%						
人概	1	(正職員/曜託職員)	0.45	/	0.05	0.38	/	0.05	0.38	/	0.05	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費			3,725			3,165			3,165			0
		タルコスト 行額+概算人件費)			466,034			476,548			3,165			0
	+			指定ごみ	袋処理手数料			衛生手数料	·		88,21	8	14	
	主な利用特財 -1年度実績値) 特財名称 粗大ごみ収集手数料		収集手数料	種類 衛生手数料			実績金額	2,73	0 決算付属資料	14	頁			

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	年間1人当たり	ごみ排出量	kg	154 / 146	156	/	141	152	/	138	/	192.4	138
実績/目標	分別不良によ	るごみ残し数	袋	15,533 / 7,800	16011	/	7000	20764	/	6200	/	6200	6200
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	ごみ収集量		t	13,312 / 12,289	13332	/	11929	13484	/	11603	/	13149	11603
(アウトプット)		単位あたり	コスト	34.4		34.7			35.1				
実績/計画				/		/			/		/		
		単位あたり	コスト							•			

□ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	(争乗担当所属内による目亡計 評価の観点	評価	評価の理由
		ET IM	・一般廃棄物の処理は市町村の責務であり、生活環境の保全のために収集業務の必要性
	・市民や社会の二一ズを的確に捉えた 事業か		は高い。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・技能と経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		P用日標(2017年)中央の外域をあり、サーミエスが、航床変換が17日サーミエスが50つ
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・成果目標については「未来創造福知山」基本計画及び一般廃棄物処理基本計画で設定している目標である。 ・活動実績について、分別不良によるごみ残しが増加しているが、適切に分別して出しても
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	らうための指導啓発であり、繰り返すことで効果が出るとともに、危険物の混入を防止する 効果もある。
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか) + 1 \ A \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	別収集を実施し、衛生的で快適な生活環境は確保しており、目的は果している。
			が、水果を美施し、削生的で快適な生活環境は確保しており、日的は果じている。 みは必ず出てくるが、その都度、張り紙をして残すことにより、次回から適切に分別して出して
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価			
	│ │ 分別不良により回収せずに残すごみが多 │パッカー車の火災事故を防止するため、継		繰り返し張り紙を行うことにより分別の徹底を促していく。特にライターやスプレー缶等による
			骨光を推進していく。 けへとシフトしていくなか、3R(特にリデュース、リユース)を呼びかけるなど、啓発していきた
これまでの課題及び	0.0		
今後の方向性			
Ⅵ 二次評価	(事業所属外による他部署評価	6)	
事後評価コメント			
	 えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の	□ 事業の見直し		
事業の見直し 及び	□ 統合/組換 □ 廃止/休止		
予算要求方針	☑ 事業の見直しなし		
 VⅢ 予算反映	<u> </u>		
	☑ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
予算反映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名: 一) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: 一

(単位:千円)

事業名	指定ごみ犯	棧作製事業												
事業担当	所属	05050000	市民総務部	3 生活環	境課				所属	長 井上 和成	ţ			
会計情報	事業コード	540165	款 04 衛生	費	項 02 清	掃費	皿	02 じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	158	頁	
施策体系	施策コード	コード 040503 施策名 リサイクルとごみ処理対策を推進する												
計画期間	開始年度	始年度 平成13年度 終了予定年度 令和12年度 関連計画名 福知山市一般廃棄物処理基本計画												
根拠法令等	廃棄物の	処理及び清	掃に関する	法律										
事業区分	□ 法定受	託事務	□ 国府補	助事業	☑ 市単	独事業 🛛	内i	部庶務的事業 🛘 その	D他	()	
R3現在の状況	☑ 継続中	② 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合												
関連事業		J MENUT 그 15.12.7 (M.A. 그 16.2.7 M.C. 그 16.												

事業基礎性	青報							
	有料指定ごみ袋の導入(? クルの促進が期待できる。 につながる。							
対象者	全市民			対象者数	77,122	単位あたりコスト	0.5	
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務	務委託 □ 指別	定管理 🗆 補助金	至交付 □	その他()
委託先·実施主体等	作製:ミヤゲン(R2)、販売	:福大商事ほか8者	Ť					
	家庭ごみの排出抑制と再た、指定ごみ袋を身近な原						- る分別収集を実施し	、ま
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	!		
	需用費	16,553	指定ごみ袋作製					
エルス田に戻る	役務費	23,243	処理手数料					
業務内容と経費								
					•	•		

Ⅲ 予算執行状況

	2	了 对 秒 (1) 1		評価前年月	E)	ı	R2(評価年	度)		R3(本年)	隻)	R4(要:	求年度)	
	1	当初予算			47,095			42,274			42,420			61,715
予	2	補正予算			0			0			0			0
算情	3	繰越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			0
		次年度繰越			0			0			0			0
,	小言	†(1)~ 3)			47,095			42,274			42,420			61,715
予	1	一般財源			0			0			180			0
算时	<u> </u>	国支出金			0			0			0			0
財源	3				0			0			0			0
内訳	4		47.005					0			0			0
76	(5)		47,095					42,274			42,240			61,715
決	1				0			0			0			0
決算	_	配当予算			47,095			42,274			0			0
惰報	<u> </u>	執行額			44,411			39,796			0			0
	_	執行率			94.3%			94.1%						
人概	1	(正職員/曜託職員)	0.23	/	0.22	0.23	/	0.22	0.23	/	0.22	0.00	/ (0.00
工算	2	概算人件費			2,390			2,390			2,390			0
		タルコスト 行額+概算人件費)			46,801			42,186			2,390			0
	~ 4	## B#	指定	定ごみ袋処	理手数料			衛生手数料			39,75	6	14	
		注利用特財 年度実績値)	特財名称指第	定ごみ袋広	告収入		種類	雑入		実績金額	4	0 決算付属資料	44	頁

IV 業績指標

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	年間1人当たり	ごみ排出量	kg	154/ 146	156	/	141	152	/	138	/	192.4	138
実績/目標				/		/			/		/		
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	ごみ収集量(可	燃・不燃・プラ)	t	11,820 / 11,108	11879	/	10783	12056	/	10487	/	11695	10487
(アウトプット)	単位あたりコスト		コスト	3.9	3.7		3.3						
実績/計画				/		/			/		/		
		単位あたり	コスト										

✓ 一次評価(事業担当所属内による自己評価)項 目 評価の観点 評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
	・市民や社会のニーズを的確に扱事業か	-7 = LO	・一般廃棄物の処理は市町村の責務であり、生活環境の保全のために収集業務の必要性 は高い。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施すできない事業か		
	・目的・目標の達成手段として適ち 優先度の高い事業か	ле. 	
	・受益者との負担関係や単位あたコストは妥当な水準か	-9	・技能と経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較! 十分行われているか	[‡] O	
	・コスト削減や効率化に向けた工 施されているか	夫が	
	・成果目標は理にかない、実績は 把握・測定されているか	適切に	・成果目標については「未来創造福知山」基本計画及び一般廃棄物処理基本計画で設定している目標である。 ・ごみステーションに出されるごみの量が増加しているが、見合った量のごみ袋は作製さ
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	れ、確保されている。
	・先行事例の分析や外部資源の第十分行われたか		
	一般廃棄物の減量化目標は達成 	できなかったが、排出	H量に応じた負担の公平性は確保できている。
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価			
		くなか、ごみ排出量の	D削減のため、3R(特にリデュース、リユース)を呼びかけるほか、ごみ袋の素材等について
これまでの課題及び 今後の方向性	も、持続可能な社会に寄与するも	のを検討していさだい	' °
VI 二次評価(事業所属外による他部	署評価)	
事後評価コメント			
· VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の	☑ 事業の見直し		
事業の見直し 及び 予算要求方針	□ 統合/組換 □ 廃止/休止 □ 事業の見直しなし		寄与する素材として、燃やすごみ専用指定袋の素材を、従来の化石由来100%ポリエチレン イオマスポリエチレンを25%配合したものに切り替える。
1/111 2/20 1	<u></u>		
VⅢ 予算反映系		F.L. 17 2	算拡充 □ 予算縮減
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/d □ 他事業を統合 (統合事業名:		算拡充 □ 予算縮減) □ 他事業へ統合 ^{(統合先事業名:} 一)

(単位:千円)

1 3 715 100 100														
事業名	リサイクル	プラザ修繕	事業											
事業担当	所属	05050000	市民総務	部 生活	環境課					所属县	長 井上 和成	ξ.		
会計情報	事業コード	540155	款 04 衛	生費	項	02 清拍	帚費	目	02 じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	158	頁
施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイク	フルとこ	み処理	対策を推進	する	5					
計画期間	開始年度	治年度 平成15年度 終了予定年度 令和12年度 関連計画名 福知山市一般廃棄物処理基本計画												
根拠法令等	廃棄物の	処理及び清	掃に関する	5法律、名	字器リナ	ナイクル	法							
事業区分	□ 法定受	託事務	□ 国府社	献事業	Ø	市単独	事業 🗆	内部	部庶務的事業 口 その	D他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	止/休止	□ 他哥	事業へ	統合	□ 他事業	を紛	· 在合	<u> </u>				
関連事業	ごみ焼却が	棄物の処理及び清掃に関する法律、容器リサイクル法 法定受託事務 □ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 () 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合 み焼却施設修繕事業、廃棄物処理施設等運転管理委託事業、水処理施設運転・維持管理事業												

∥ 事業基礎性	青報													
	市民の生活から日常的に画的に整備することで、リ			:で、経年劣化	こ伴う性能低下が著し	いリサイクルプラザの彳	各機械設備部品を計							
対象者	全市民			対象者数	77,122	単位あたりコスト	0.5							
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業績	務委託 □ 指第	定管理 🗆 補助金	交付 □	その他()							
委託先·実施主体等	(株)ファノバ福知山営業所	f、鎌長製衡(株)大	阪支店、福知山環境事	掌業協同組合、	荒河電気設備管理事	務所								
事業概要 (箇条書き)	・容器包装プラスチック他の資源ごみの中間処理を行い、循環型社会の市民への啓蒙を行った。 ・法に則した資源ごみの完全な処理は、市民の快適な衛生生活を提供することとなる。 ・住民サービスの充実を図るため、機器の運転・維持管理を計上し施設の整備を行った。													
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	}								
需用費														
エタメ田に座る	委託料	1,235	環境パーク高圧受変	電設備変圧器	劣化診断業務、埋立処	1分場不燃ごみ破砕業	務							
業務内容と経費	工事請負費	10,473	リサイクルプラザ棟空	調設備更新工	事									

Ⅲ 予算執行状況

	Z	3 分 3 分 3 分 3 分 3 分 3 分 3 分 3 分 3 分 3 分		21(評価	前年度)		R2(評価年	度)		R3(本年)	麦)	R4(要x	ド年度)	
	1	当初予算			41,959			46,077			95,947		2	12,302
予	2	補正予算			0			0			0			0
算情	3	繰越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			0
		次年度繰越			0			0			0			
,	小計	h(1)~(3)			41,959			46,077			95,947		2	12,302
予	1	一般財源			3,959			14,277			32,247			61,702
算財	<u> </u>	国支出金			0			0			0			0
源	3				0			0			0			0
内訳	-	地方債		38,000				31,800			63,700		1	50,600
B/C	(5)	その他特財		0				0			0			0
決	1				0			0			0			0
決算	_	配当予算			41,959			46,077			0			0
惰報	3	執行額			36,250			33,344			0			0
TIA.	4				86.4%			72.4%						
人概	(1)	従事職員数 (正職員/模託職員)	0.32	/	0.00	0.32	/	0.00	0.32	/	0.00	0.00	/ O.	.00
工算	2	概算人件費			2,560			2,560			2,560			0
		タルコスト (預・概算人件費)			38,810			35,904			2,560			0
	~	H-4-01		一般廃	棄物処理事業債	·		衛生債			23,20	0	52	
		(利用特財 年度実績値)	特財名称	下水道(灰・しさ)処理手数	料	種類	衛生手数料		実績金額	4,70	2 決算付属資料	14	頁
				市庁内	ごみ手数料			衛生手数料			4,81	2	14	

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	搬入廃棄物の	分別処理		完全処理	完全処理	/	完全処理	完全処理	/	完全処理	/	完全処理	完全処理
実績/目標				/		/			/		/		
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	リサイクルプラ	ザ処理量	t	4,154/3,418	3854	/	3467	4105	/	3848	/	3150	完全処理
(アウトプット)	単位あたりコスト		コスト 8.8		9.4		8.1						
実績/計画				/		/			/		/		
		単位あたり	コスト				•						

	(事業担当所属内による自己評		新在 办理本
項目	評価の観点	評価	評価の理由 ・・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であるため、焼却処理において、法令の遵守
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		・ 市氏の生活に不可欠なこみ処理に係る事業であるにおり、 成却処理において、法可の遵守 と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保した。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な修繕を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト縮減、効率化を図った。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアし、搬入廃棄物の完全処理を行った。・活動実績はリサイクルプラザ処理量としているが、計画量を上回った。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	- 有効な技術等を常に研究をした。
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	- 3v 4 - 1 3	
	施設の計画的な修繕を行っことにより、市内	で発生する	らリサイクルごみの安定かつ適正な分別処理が行なえた。
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	廃棄物を安定かつ適正に処理を行なうととも	に、さらに	効率化と経質の削減を図る。
これまでの課題及び			
今後の方向性			
VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)	
事後評価コメント			
7 KAI IM-17 2 I			
VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の	□ 事業の見直し		
事業の見直し 及び	□ 統合/組換 □ 廃止/休止		
予算要求方針	☑ 事業の見直しなし		
VⅢ 予算反映系			
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	☑予	算拡充 □ 予算縮減
1 21 ~ 10 41 ~	□ 仙事業を統合 (統合事業名: -) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: 一

(単位:千円)

. 4 /12.1.4 1-														
事業名	環境パーク	7運転・維持	管理事:	É										
事業担当	所属	05050000	市民総務	部 生活	環境課					所属:	長 井上 和成	t		
会計情報	事業コード	540154	款 04 征	生費	項 02	清掃	費	目	02 じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	158	頁
施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイ	ウルとごみ り	処理対	対策を推進	する	3					
計画期間	開始年度	平成28年	度終了	予定年度	令和12年	度	関連計画:	名	福知山市一般廃棄物	処理基:	本計画			
根拠法令等	廃棄物の処	処理及び清	掃に関す	る法律										
事業区分	□ 法定受	託事務	口 国府	補助事業	☑市□	単独	事業 🗆	内部	部庶務的事業 口 その	D他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	止/休止	□他	事業へ統合	ì	□ 他事業	を紛	· 在合				•	
関連事業	ごみ焼却が	色設修繕事	業、廃棄	物処理施	设等運転管	理委	託事業、才	く処	理施設運転·維持管理	事業、	Jサイクルプラ [・]	ザ修繕事業		

事業基礎	青報						
事業目的 (あるべき姿)	市民の生活から日常的に のため、環境パークの施設					、排出されるごみを	適切に処理できない。こ
対象者	全市民			対象者数	77,122	単位あたりコスト	3.1
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指第	定管理 🗆 補助金	交付 □	その他()
委託先·実施主体等	(株)福知山クリーンセンタ	7一、福知山環境事	業協同組合 他				
事業概要 (箇条書き)	・平成12年度より燃やする 市環境パーク」として約2 ・ごみ処理は、市民生活に る。住民サービスの充実を	年が経過している 密着したライフライ	。 インの一部であり、法に	則した燃やす	ごみの完全な処理が、		
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	l .	
	報酬	1,260	臨時職員報酬				
主な支出に係る	需用費	113,645	ごみ焼却施設薬品他	消耗品費、ごみ	⊁焼却施設灯油代他燃	料費、環境パーク	電気代、施設修繕
業務内容と経費	役務費	2,218	設備法定点検手数料	、公用車車検	手数料、公用車損害共	済分担金	
	委託料	99,907	環境パーク施設維持り	管理業務委託	まか	·	·
	使用料及び賃借料ほか	1,076	複写機使用料、車両!	ノース料ほか			

Ⅲ 予算執行状況

	Z	3 7 1 1 分			R1(評価i	竹年度)		R2(評価年	度)		R3(本年)	芰)	R4(要3			
	1	当初予	算			209,551			215,606			237,173		2	75,972	
予	2	補正予	算			0			0			0			0	
算情	3	繰越予	算			0			0			0			0	
報		前年	度繰越			0			0			0			0	
		次年月	度繰越			0			0			0			0	
	小計	·(1)~(3)))			209,551			215,606			237,173		2	75,972	
予	1	一般財	源			80,521			58,349			0			0	
算財源	_	国支出:	金			0			0			0			0	
源	3	府支出:	金			2,160			2,035			2,035			2,178	
内	4	地方債				0			0			5,700		;	38,500	
訳	⑤	その他特	特財			126,870			155,222			229,438		2	35,294	
決	1	流充用	額			4,046			4,757			0			0	
決算		配当予	算			213,597			220,363			0			0	
惰報	3	執行額				211,943			218,106			0	0			
TA	4	執行率				99.2%			99.0%							
人概	1	従事職員 (正職員/嘱託	E職員)	3.00	/	2.90	1.98	/	2.90	1.98	/	2.90	0.00	/ 0.	.00	
工算	2	概算人	件費			31,250			23,090			23,090			0	
		マルコン 可額+概算人		243,193			93 241,196			23,090					0	
	<u> </u>		_	環境パーク使用料					清掃使用料			98	80	10		
		:利用特則 年度実績		特財名称一般廃棄物手数料			種類 清掃手数料				実績金額	67,8	75 決算付属資料	14	頁	
					産業廃棄	통物手数 料			清掃手数料			106,60	63	14		

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	公害防止協定、	協定値の遵守		協定値以下	協定値以下	/	協定値以下	協定値以下	/	協定値以下	/	協定値以下	協定値以下
実績/目標				/		/			/		/		
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	廃棄物処理量(焼却	、リサイクルプラザ)	t	22,708/ 25,020	24689	/	24620	23750	/	24584	/	24391	完全処理
(アウトプット)		単位あたり	コスト	9.4		8.6			9.2				
実績/計画				/		/			/		/		
		単位あたり	コスト				•			·			

V · ·		(争条担当所属内による目亡) 評価の観点	評価	評価の理由
-59			AT IM	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であるため、焼却処理において、法令の遵守
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保した。
必	要 性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な整備 を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト縮減、効率化を図った。
効	率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアした。・活動実績はごみ処理量としているが、計画量を下回った。・有効な技術等を常に研究し、運転管理に係る技術力の向上を図った。
有	効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
		・ 先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
				『発生する燃やすごみの安定かつ適正な「廃棄物処理」が行なえた。 徐去を行ない法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。、
	の目的及び			
	の達成状況に 定性的評価			
		 廃棄物処理を安定かつ適正に処理を行な	うとともに、る	らに効率化と経費の削減を図る。
	での課題及び の方向性			
		(中班 ~ 日 * 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	<u> </u>	
VI	二次評価	(事業所属外による他部署評値)	曲)	
事後記	評価コメント			
7 10.11	.,			
VII	評価をふま			
		方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担	!当課の	□ 事業の見直し		
事業	を の見直し 及び	□統合/組換		
予算	要求方針	□ 廃止/休止 ☑ 事業の見直しなし		
VIII	予算反映			
予算	反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	☑予	算拡充 □ 予算縮減
		□ 他事業を統合 (統合事業名: -) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: 一)

(単位:千円)

4 7/5/104/104															
事業名	第4期埋立	Z処分場整(備事	業											
事業担当	所属	05050000	市民	総務部 生活環境	竟課					所属:	長 井上 和成	ţ			
会計情報	事業コード	540148	款(04 衛生費	項	02 清排	骨	目	02 じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	158	頁	
施策体系	施策コード	コード 040503 施策名 リサイクルとごみ処理対策を推進する													
計画期間	開始年度														
根拠法令等	廃棄物の	処理及び清	掃に	関する法律											
事業区分	□ 法定受	託事務	Ø [国府補助事業		市単独	事業 🗆	内i	部庶務的事業 口 その	D他	()	
R3現在の状況	☑ 継続中	□廃」	上/休	止 口 他事第	きへお	統合	□ 他事業	を給	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
関連事業		•				•	•						•		
東紫其磁	書 部														

∥ 事業基礎性	青 報						
事業目的 (あるべき姿)	既設埋立処分場が約10年	₹後には全て埋立た	が完了するため、第1期	Ⅰ•第2期埋立処	!分場隣接に第4期埋]	立処分場の整備を行	īð.
対象者	全市民			対象者数	77,122	単位あたりコスト	0.0
実施方法	□ 直接実施 ☑ 業績	務委託 □ 指5	定管理 🗆 補助金	交付 🗆	その他()
委託先•実施主体等	キタイ設計(株)京都支社						
事業概要 (箇条書き)	·第1期·第2期埋立処分均	湯隣接地に、第4期	埋立処分場の整備を 作	τつための基本	設計を実施した。		
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	7	
	旅費	14	京都府出張				
エやス田にかる	委託料	385	電子計算機保守管理	業務			
業務内容と経費							

Ⅲ 予算執行状況

	区	分						R2(評価:	年度)		R3(本年)	度)	R4 (要求年度	E)
(1) #	á初予算					0		61,817			40,385			16,505
(2) 補	非正予算					0		0			0			C
(3) 終	乘越予算					0		△ 61,432			61,432			61,432
		前年度繰越					0		0			61,432			61,432
		次年度繰越					0		△ 61,432			0			C
小	計((① ~ ③)					0		385			101,817			77,937
(D -	-般財源					0		385			51,004			5,505
(2) [支出金					0		0			26,813			C
(3)床	支出金					0		0			0			C
-		也方債					0		0			24,000			11,000
(5) そ	の他特財					0		0			0			C
(① 济	充用額					0					0			C
-							0		399			0			C
(3	九行額					0					0			C
(0.0	%		100.0%						
t l`	D 従	:事職員数 :職員/嘱託職員)	0.00		/	0.00	0.28	/	0.00	0.28	/	0.00	0.00	/	0.00
r (2) 根	既算人件費					0		2,240			2,240			C
算報	·タノ ^{執行額}	レコスト +概算人件費)					0		2,639			2,240			C
			特財名称					種類			実績金額		決算付属資	[料	頁
		2 有 利 (1) (2) (3) (4) (5) (7) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度機越 次年度機越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予算 ③ 執行率	① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度機越 の計算 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予算 ③ 執行報 ④ 執行率 ② 配当予算 ② 執行程 ④ 執行本 ② 概算人件費	① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予算 ③ 執行額 ④ 執行率 ② 報算人件費 一タルコスト 章執行額・概算人件費) 主な利用特財 は は は は は は は は は は は は は は は は は は	① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度線越 次年度線越 次年度線 が かられ が はいまする	① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 次年度繰越 次年度繰越 次年度機越 次年度機 が、2000年度 新聞 表現る	① 当初予算 0 ② 補正予算 0 ③ 繰越予算 0 前年度線越 0 次年度線越 0 小計(①~③) 0 ① 一般財源 0 ② 国支出金 0 ④ 地方債 0 ⑤ その他特財 0 ① 流充用額 0 ② 配当予算 0 ③ 執行額 0 ④ 執行率 0.0% ② 概算人件費 0 ② 概算人件費 0 主な利用特財 株計及株	① 当初予算 0 ② 補正予算 0 ③ 繰越予算 0 前年度線越 0 次年度線越 0 小計(①~③) 0 ① 一般財源 0 ② 国支出金 0 ④ 地方債 0 ⑤ その他特財 0 ① 流充用額 0 ② 配当予算 0 ③ 執行額 0 ④ 執行率 0.0% ② 概算人件費 0 主な利用特財 (株職算人件費) 主な利用特財 (株財費)	① 当初予算 0 61,817 ② 補正予算 0 0 ③ 繰越予算 0 △ 61,432 前年度繰越 0 ○ 次年度繰越 0 △ 61,432 小計(①~③) 0 385 ② 国支出金 0 0 ③ 府支出金 0 0 ④ 地方債 0 0 ⑤ その他特財 0 0 ① 流充用額 0 14 ② 配当予算 0 399 ③ 執行額 0 0.0% 100.0% ② 概算人件費 0 0.28 0.00 ② 概算人件費 0 2.240 一夕ルコスト ② 電外人件費 0 2.639 主な利用特財 株計及れ	① 当初予算 0 61,817 ② 補正予算 0 0 ③ 繰越予算 0 △ 61,432 前年度繰越 0 ○ 次年度繰越 0 △ 61,432 小計(①~③) 0 385 ① 一般財源 0 385 ② 国支出金 0 0 ④ 地方債 0 0 ⑤ その他特財 0 0 ① 流充用額 0 14 ② 配当予算 0 399 ④ 執行率 0.0% 100.0% ② 概算人件費 0 0.28 0.00 0.28 ② 概算人件費 0 2,240 2,639 章 主な利用特財 株計及所 0 2,639 章 主な利用特財 株計及所 0 2,639 章	① 当初予算 0 61,817 ② 補正予算 0 0 ③ 繰越予算 0 △ 61,432 市年度繰越 0 △ 61,432 小計(①~③) 0 385 ① 一般財源 0 385 ② 国支出金 0 0 ③ 府支出金 0 0 ④ 地方債 0 0 ⑤ その他特財 0 0 ① 流充用額 0 14 ② 配当予算 0 399 ④ 執行率 0.0% 100.0% ① 従事職員数 (定租利 (租赁租利) 0.00 0.28 / ② 概算人件費 0 2,240 一タルコスト 資執行額・概算人件費 0 2,639 主な利用特財 株財名 (株費) 15.50 日本 (株費)	① 当初予算 0 61,817 40,385 ② 補正予算 0 0 0 0 ③ 繰越予算 0 0 △ 61,432 61,432 61,432	① 当初予算	① 当初予算 0 61,817 40,385 ② 補正予算 0 0 0 0 0 ③ 繰越予算 0 0 61,432 61,432 61,432

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	埋立量確保		m³	0	0	/	0	0	/	0	/	0	20万㎡
実績/目標						/			/		/		
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動事績	工事等請負契	約率	%	0	0	/	0	1	/	1	/	2	100
活動実績(アウトブット)		単位あたり	コスト	0.0		0.0			399.0				
実績/計画						/			/		/		
		単位あたり	コスト										

□ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	、争 系 担 当 所 禹 内による目 口き 評価の観点	評価	評価の理由
74 1		RT IM	・一般廃棄物の処理は市の責務であり、最終処分場の確保の必要性は高く、整備に向けて
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		基本設計を行った。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・当該処分場用地は確保されており、有効に利用することで新たな処分場用地の確保に係るコスト削減を図る基本設計とした。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・成果目標、活動目標については各年度の予定事業を実施し、段階的に埋立処分場の整備を行い、埋立量の確保を図ることとした。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	第4期埋立処分場の整備を行うため、基本	設計及び環	は境影響評価調査を行った。
事業の目的及び			
指標等の達成状況に 対する定性的評価			
	第1期・第2期埋立処分場の嵩上整備を実施	もし、埋立処	l分場の残余量を確保しながら事業を進める必要がある。
これまでの課題及び			
今後の方向性			
 VI 二次評価(事業所属外による他部署評価	6)	
主体器在一人 。			
事後評価コメント			
	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の	□ 事業の見直し		
事業の見直し	□ 統合/組換		
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止		
	☑ 事業の見直しなし		
VⅢ 予算反映線	· 結果		
	□ 現状維持 □ 廃止/休止	口予	算拡充 🗸 予算縮減
予算反映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名: 一) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: 一)

(単位:千円)

事業名	水処理施	设運転・維持	寺管理事業											
事業担当	所属	05050000	市民総務部	8 生活環	環境課				所属	長 井上 和成	ţ			
会計情報	事業コード	540142	款 04 衛生	主費	項 02 清	掃費	目	02 じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	158	頁	
施策体系	施策コード	^{夜コード} 040503 施策名 リサイクルとごみ処理対策を推進する												
計画期間	開始年度	平成28年	度 終了予	定年度	令和12年度	関連計画	名	福知山市一般廃棄物	処理基準	画信				
根拠法令等	廃棄物の	処理及び清	掃に関する	法律										
事業区分	□ 法定受	託事務	□ 国府補	亅事業	☑ 市単	独事業 🗆	内部	部庶務的事業 口 その	D他	()	
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	止/休止	□ 他事	業へ統合	□ 他事業	を制	· 在合						
関連事業	ごみ焼却加	拖設修繕事	業、廃棄物	処理施設	と 等運転管理	委託事業、	水処	理施設運転・維持管理	事業					

事業基礎	青報						
事業目的 (あるべき姿)	福知山市環境パーク及びいる。その施設で処理され を遵守しなければならない 適切な施設管理を図るこ	いた浸出水は、放流い。そのため、水処	水として河川放流をす	るが、その放	流水質は、法令の排出	基準及び環境保全	協定に定められた基準
対象者	全市民			対象者数	77,122	単位あたりコスト	0.5
実施方法	□ 直接実施 ☑ 業績	務委託 □ 指第	定管理 🗆 補助金	交付 口	その他()
委託先·実施主体等	(社)福知山市シルバー人	、材センター、(株)	アクアテック 他				
事業概要 (箇条書き)	・不燃物理立処分場から な稼動の維持管理を行っ		出水)を、公共水域基	準及び公害防	止協定値以下まで処理	里するため浸出水処	理施設の安定かつ確実
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	! 	
	需用費	16,113	施設薬品代、施設消耗	毛品購入、光熱	水費、施設修繕費		
主な支出に係る	役務費	277	通信費、法定点検手数	数料			
業務内容と経費	委託料	16,053	施設運転維持管理業	務			

Ⅲ 予算執行状況

- 111	Σ	了 开列 (1)1		R1(評価前年	F 度)		R2(評価年	 度)		R3(本年)	変)	R4(要3	杉年度)	
	1	当初予算			39,086			35,646			86,233			42,785
予	2	補正予算			0			0			0			0
算情	3	繰越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			0
		次年度繰越			0			0			0			0
/	小言	†(①~ ③)			39,086			35,646			86,233			42,785
予	-	一般財源			16,780			9,334			0			0
算財	_	国支出金			0			0			0			
源		府支出金			0			0			0			0
内訳	_	地方債					0			34,500			4,100	
(A)	(5)				22,306			26,312			51,733			38,685
決	_	流充用額			0			△ 63			0			0
決算		配当予算			39,086			35,583			0			0
惰報	_	執行額			37,880			32,443			0			0
	_	執行率			96.9%			91.2%						
人概	(I)	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.21	/	0.00	0.32	/	0.00	0.32	/	0.00	0.00	<u> </u>	0.00
	_	概算人件費			1,680			2,560			2,560			0
		タルコスト 行額+概算人件費)			39,560			35,003			2,560			0
		- T-1 CD 4+ D-1		下水道(灰・	しさ)処理手数	料		清掃手数料			5,00	5	14	
		利用特財 年度実績値)	特財名称	市庁内ごみ	手数料		種類	清掃手数料		実績金額	11,03	3 決算付属資料	14	頁
				市庁外ごみ	手数料			清掃手数料			2,25	4	14	

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	公害防止協定、	協定値の遵守		協定値以下	協定値以下	/	協定値以下	協定値以下	/	協定値以下	/	協定値以下	協定値以下
実績/目標				/		/			/		/		
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	放流水量		t	77,127/ 120,450	80926	/	120450	51682	/	120450	/	120450	120450
(アウトプット)		単位あたり	コスト	0.6		0.5			0.6				
実績/計画				/		/			/		/		
単位あたり		コスト											

	目	事業担当所属内による目で評価の観点	コシナ 7回 ノ	評価の理由
- 74			RT IIM	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、焼却処理において、法令の遵守と地
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保した。
必要	性	・民間事業者や市民が自ら実施すること できない事業か	<u>د</u> 0	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な整備を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト縮減、効率化を図った。
効 率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
		・成果目標は理にかない、実績は適切! 把握・測定されているか	Ξ	・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアする。・活動実績は水処理施設の処理能力に対しての放流水量としているが、下回っている。・有効な技術等を常に研究した。
有 効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
		排水基準及び公害防止協定を遵守する 施設の適正管理を行うことにより公害防 水処理施設放流水の排出基準及び公	方止協定の排水	基準を守るうえで有効である。
事業の目的	内乃で			
指標等の達成対する定性	衣状況に			
対する足圧	川一村では、			
		 今後も排水基準及び公害防止協定を遵	望守するため水気	処理施設の適正管理を行なう必要がある。
これまでの説 今後の方				
 VI ニガ	·評価(事業所属外による他部署部	平価)	
有 纵部压-	- ds.1			
事後評価=	コメント			
VII 評価	あをふま	えた次年度事業方針		
		方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課	<u>.</u>	□ 事業の見直し		
事業の見 及び		□ 統合/組換 □ 廃止/休止		
予算要求		□ 廃止ノ休止 ☑ 事業の見直しなし		
		2 子次7000000		
VⅢ 予算	草反映			
予算反映	結里	□ 現状維持 □ 廃止/休止	口予	算拡充 ☑ 予算縮減
广开从吹	和中	□ 他事業を統合 (統合事業名: -) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: 一)

(単位:千円)

4 >15,144														
事業名	福知山市	一般廃棄物	処理基本詞	計画策定	事業									
事業担当	所属	05050000	市民総務部	部 生活環	環境課					所属:	長 井上 和成	ţ		
会計情報	事業コード	540140	款 04 衛:	生費	項(02 清排	帚費	目	01 清掃総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	156	頁
施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイク	ルとご	み処理	対策を推進	す	3					
計画期間	開始年度	令和2年	度 終了	定年度	令和3	年度	関連計画	名	福知山市一般廃棄物	処理基:	本計画			
根拠法令等	廃棄物の	処理及び清	掃に関する	法律										
事業区分	□ 法定受	託事務	□ 国府初	助事業	Ø	市単独	事業 🗆	内i	部庶務的事業 口 その	の他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃.	止/休止	□ 他事	業へ紡	合	□ 他事業	を給	·····································		•	•		
関連事業														

∥ 事業基礎∥	青報							
事業目的 (あるべき姿)	廃棄物の処理及び清掃に	-関する法律第6条	に基づき一般廃棄物処	见理基本計画 を	を 策定。			
対象者	全市民			対象者数	77,122	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業績	務委託 □ 指第	定管理 🗆 補助金	交付 🗆	その他()
委託先•実施主体等	(キタイ設計株式会社京都	『支社)						
事業概要 (箇条書き)	・福知山市一般廃棄物処・福知山市一般廃棄物処・・福知山市一般廃棄物処・パブリックコメントの実施・福知山市議会への上程	理基本計画検討(。		知山市環境審	議会を開催。			
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	!		
	報酬	152	環境審議会委員報酬					
主な支出に係る	旅費	44	出張旅費					
業務内容と経費	委託料	3,622	計画作成業務委託料					

Ⅲ 予算執行状況

		分		11(評	価前年	F 度)			R2(評価年	度)		R3(本年)	変)	R4	(要求:	年度)	
(1) #	á初予算					0			4,385			1,200				0
Ç	2) 補	非正予算					0			0			0				0
(3) 約	桑越予算					0			0			0				0
		前年度繰越					0			0			0				0
		次年度繰越					0			0			0				0
小	計((1)~(3)					0			4,385			1,200				0
(<u>D</u> –	-般財源					0			4,385			1,200				0
-							0			0			0				0
							0			0			0				0
-							0			0			0				0
(0			0			0				0
(① 济	充用額					0			△ 223			0				0
-							0			4,162			0				0
-							0						0				0
-						0.0)%			91.7%							
T	1) 従	事職員数	0.00		/	0.00		0.41	/	0.00	0.41	/	0.00	0.00	/	0.	00
r (2) 根	聚算人件費					0			3,280			3,280				0
算報	·タノ ^{執行額}	レコスト +概算人件費)					0			7,098			3,280				0
			特財名称						種類			実績金額			 資料 		頁
		2 有 素 が は で は で は で は で は で は で は で は で は で は	① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予額 ④ 執行率	① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度機越 次年度機越 次年度機越 の計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予算 ③ 執行額 ④ 執行率 ② 概算人件費 一タルコスト 章執行額・概算人件費 主な利用特財 ***********************************	① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予算 ③ 執行額 ④ 執行率 ② 配当予算 ② 執行報 ④ 執行率 ② 概算人件費 一タルコスト 章執行額・概算人件費 主な利用特財 **********************************	① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度線越 次年度線越 大中央 が 1	 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予算 ③ 執行額 ④ 執行率 ② 机等取入价率 ② 概算人件費 本の大力コスト 算付額・概算人件費) 主な利用特財 	① 当初予算 0 ② 補正予算 0 ③ 繰越予算 0 前年度繰越 0 次年度繰越 0 小計(①~③) 0 ① 一般財源 0 ② 国支出金 0 ③ 府支出金 0 ④ 地方債 0 ⑤ その他特財 0 ① 流充用額 0 ② 配当予算 0 ③ 執行額 0 ④ 執行率 0.0% ② 概算人件費 0 主な利用特財 45日名数 本は日本教 45日名数	① 当初予算 0 ② 補正予算 0 ③ 繰越予算 0 前年度繰越 0 次年度繰越 0 小計(①~③) 0 ① 一般財源 0 ② 国支出金 0 ④ 地方債 0 ⑤ その他特財 0 ① 流充用額 0 ② 配当予算 0 ③ 執行額 0 ④ 執行率 0.0% ② 概算人件費 0 主な利用特財 (株計分類、概算人件費) 主な利用特財 (株計分類、概算人件費)	① 当初予算 0 ② 補正予算 0 ③ 繰越予算 0 前年度線越 0 次年度線越 0 小計(①~③) 0 ① 一般財源 0 ② 国支出金 0 ③ 府支出金 0 ④ 地方債 0 ⑤ その他特財 0 ① 流充用額 0 ② 配当予算 0 ③ 執行額 0 ④ 執行率 0.0% ② 概算人件費 0 主な利用特財 株計分数 主な利用特財 株計分数 正無期 株計分数 直接期 0 本計分 0 <t< th=""><th>① 当初予算 0 4,385 ② 補正予算 0 0 ③ 繰越予算 0 0 前年度繰越 0 0 次年度繰越 0 0 ① 一般財源 0 4,385 ② 国支出金 0 0 ③ 府支出金 0 0 ④ 地方債 0 0 ⑤ その他特財 0 0 ① 流充用額 0 △ 223 ② 配当予算 0 4,162 ③ 執行額 0 3,818 ④ 執行率 0.0% 91.7% ② 概算人件費 0 0.41 / 0.00 ② 概算人件費 0 7,098 主な利用特財 株計及所 株計及所 株計及所</th><th>① 当初予算 0 4,385 ② 補正予算 0 0 ③ 繰越予算 0 0 前年度繰越 0 0 次年度繰越 0 0 ① 一般財源 0 4,385 ② 国支出金 0 0 ② 市支出金 0 0 ④ 地方債 0 0 ⑤ その他特財 0 0 ① 流充用額 0 223 ② 配当予算 0 4,162 ③ 執行額 0 3,818 ④ 執行率 0.0% 91.7% ① 従事職員教 0.00 0.41 0.00 0.41 ② 概算人件費 0 3,280 - - 7,098 章な利用特財 45月条 0 7,098 章な利用特財 45月条 0 7,098 章な利用特財 45月条 0 7,098 章な利用・特財 45月条 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th><th>① 当初予算 0 4,385 ② 補正予算 0 0 ③ 繰越予算 0 0 前年度繰越 0 0 次年度繰越 0 0 ① 一般財源 0 4,385 ② 国支出金 0 0 ③ 府支出金 0 0 ④ 地方債 0 0 ⑤ その他特財 0 0 ① 流充用額 0 4,162 ③ 執行額 0 3,818 ④ 執行率 0.0% 91.7% ① 従事職員数 (運用網 (銀世報) 0.00 0.41 / 0.00 0.41 / 0.00 一夕ルコスト 資執行額・概算人件費 0 7,098 事業会務 事業会務 事業会務 事業会務</th><th>① 当初予算 0 4,385 1,200 ② 補正予算 0 0 0 0 0 ③ 繰越予算 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th><th>① 当初予算 0 4,385 1,200 ② 補正予算 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th><th>① 当初予算 0 4,385 1,200 ② 補正予算 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th><th>① 当初予算 0 4,385 1,200 ② 補正予算 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th></t<>	① 当初予算 0 4,385 ② 補正予算 0 0 ③ 繰越予算 0 0 前年度繰越 0 0 次年度繰越 0 0 ① 一般財源 0 4,385 ② 国支出金 0 0 ③ 府支出金 0 0 ④ 地方債 0 0 ⑤ その他特財 0 0 ① 流充用額 0 △ 223 ② 配当予算 0 4,162 ③ 執行額 0 3,818 ④ 執行率 0.0% 91.7% ② 概算人件費 0 0.41 / 0.00 ② 概算人件費 0 7,098 主な利用特財 株計及所 株計及所 株計及所	① 当初予算 0 4,385 ② 補正予算 0 0 ③ 繰越予算 0 0 前年度繰越 0 0 次年度繰越 0 0 ① 一般財源 0 4,385 ② 国支出金 0 0 ② 市支出金 0 0 ④ 地方債 0 0 ⑤ その他特財 0 0 ① 流充用額 0 223 ② 配当予算 0 4,162 ③ 執行額 0 3,818 ④ 執行率 0.0% 91.7% ① 従事職員教 0.00 0.41 0.00 0.41 ② 概算人件費 0 3,280 - - 7,098 章な利用特財 45月条 0 7,098 章な利用特財 45月条 0 7,098 章な利用特財 45月条 0 7,098 章な利用・特財 45月条 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	① 当初予算 0 4,385 ② 補正予算 0 0 ③ 繰越予算 0 0 前年度繰越 0 0 次年度繰越 0 0 ① 一般財源 0 4,385 ② 国支出金 0 0 ③ 府支出金 0 0 ④ 地方債 0 0 ⑤ その他特財 0 0 ① 流充用額 0 4,162 ③ 執行額 0 3,818 ④ 執行率 0.0% 91.7% ① 従事職員数 (運用網 (銀世報) 0.00 0.41 / 0.00 0.41 / 0.00 一夕ルコスト 資執行額・概算人件費 0 7,098 事業会務 事業会務 事業会務 事業会務	① 当初予算 0 4,385 1,200 ② 補正予算 0 0 0 0 0 ③ 繰越予算 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	① 当初予算 0 4,385 1,200 ② 補正予算 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	① 当初予算 0 4,385 1,200 ② 補正予算 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	① 当初予算 0 4,385 1,200 ② 補正予算 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

成果実績	指	標	単位	H30	R1		R2		R3		最終目標
(アウトカム)	計画策定進捗	率	%		/	100	/	100	/	100	100
実績/目標					/		/		/		
	指	標	単位	H30	R1		R2		R3		最終目標
活動室籍	審議会開催		回		/	3	/	3	/		3
活動実績(アウトプット)		単位あたり	コスト				1272.7				
実績/計画	印刷製本				/		/		/	1	1
		単位あたり	コスト								

□ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	(事業担当所属内による目に 評価の観点	評価	評価の理由
- 現 - 日		新刊	肝臓の埋日
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		元末7900 た 生 及び行前に関う の 本件により申引 打に扱うが シャップ しゅう この
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することできない事業か	n 0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		コスト削減や効率化を図るため、業務委託により実施している。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		府内市町村・一部組合に対し、廃棄物施策に関するアンケートを実施し、先行事例の把握、本市との比較を行い、計画策定に生かしている。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	令和3年3月に計画策定を完了した。		
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価			
	令和3年度は計画の製本を行う。 計画に基づいて、本市の廃棄物行政を追	まめて行く.	
これまでの課題及び			
今後の方向性 			
l Ⅵ 二次評価		価)	
	・市として必要な計画であり今後計画に流	合った事業の	実施と実施後の検証を確実に行う必要がある。 必要不可欠なため、計画・施策への理解・協力を得られる取組が求められる。
	一地東の展開において、印氏、事業有の	主片 一	グ女パ·引入なため、計画・心来・いり生性・励力で持つれる4x4位が小のつれる。
事後評価コメント			
	 tえた次年度事業方針		
411 51 lm 5 (2), 9	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
↓□ ₩ # ₽ ◆	□ 事業の見直し		
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換		
及び 予算要求方針	☑ 廃止/休止		
	□ 事業の見直しなし		
VⅢ 予算反映	 結果		
	□ 現状維持 ☑ 廃止/休止	口子	· 算拡充 □ 予算縮減
予算反映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名: -) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: 一)

(単位:千円)

1 1 7/2/11/10														
事業名	ごみ焼却加	色設修繕事	業											
事業担当	所属	05050000	市民総務部	祁 生活環	境課					所属	長 井上 和成	ţ		
会計情報	事業コード	540138	款 04 衛	主費	項	02 清排	帚費	目	02 じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	156	頁
施策体系	施策コード	コード 040503 施策名 リサイクルとごみ処理対策を推進する												
計画期間	開始年度	台年度 平成28年度 終了予定年度 令和12年度 関連計画名 福知山市一般廃棄物処理基本計画												
根拠法令等	廃棄物の	処理及び清	掃に関する	法律、容	器リサ	イクル	法、ダイオキ	Fシ	ン特別措置法					
事業区分	☑ 法定受	法定受託事務 🗆 国府補助事業 🗗 市単独事業 🗀 内部庶務的事業 🗀 その他 ()												
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	上/休止	□ 他事	業へ紛	充合	□ 他事業	を給	· 充合	•		•		
関連事業			•	•			•			<u> </u>		•		_

事業基礎	青報						
事業目的 (あるべき姿)	平成12年度から稼動して に、施設の延命化を図り原			備を計画的に	牧修、整備することで	、法令及び公害防止協定	の遵守するととも
対象者	全市民			対象者数	77,122	単位あたりコスト	1.0
実施方法	☑ 直接実施 □ 業績	務委託 □ 指5	定管理 🗆 補助金	交付 🗆	その他()
委託先·実施主体等	三菱重工環境・化学エンジ						
事業概要 (箇条書き)	・福知山市内からの燃や ・市民サービスの充実を図				全に焼却処理を行っ	<i>t</i> .。	
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	\$	
	需用費	73,337	施設消耗品購入、焼土	印施設修繕			
主な支出に係る							
業務内容と経費							

Ⅲ 予算執行状況

	₽	区 分	F	21(評価前	丁年度)		R2(評価年	度)		R3(本年)	隻)	R4(要3	求年度)	
	1	当初予算			75,500			85,390			136,253		2	258,478
予	2	補正予算			20,000			0			0			0
算情	3	繰越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			0
		次年度繰越			0			0			0			0
,	小言	†(①~ ③)			95,500			85,390			136,253		2	258,478
予	1	一般財源			9,700			21,990			37,653			68,078
算財	2	国支出金			0			0			0			0
源	3	府支出金			0			0			0			0
内	4	地方債			85,800			63,400			98,600		1	190,400
訳	(5)	その他特財			0			0			0			0
決	1	流充用額			0			△ 5,157			0			0
決算	2	配当予算			95,500			80,233			0			0
惰報	3	執行額			94,830			73,337			0			0
***	4	執行率			99.3%			91.4%						
人概	1	従事職員数 (正職員/模託職員)	0.49	/	0.00	0.52	/	0.00	0.52	/	0.00	0.00	/ (0.00
工算	2	概算人件費			3,920			4,160			4,160			0
卜- (予算	车 執行	タルコスト 行額+概算人件費)			98,750			77,497			4,160			0
		- Til M 4+ D.1		一般廃棄	物処理債			衛生債			54,30	0	52	
		↓利用特財 年度実績値)	特財名称	下水道()	灭・しさ)処理手数	手数料 種類 清掃手数料			実績金額 1.		12,50	0 決算付属資料	14	頁
,				市庁内ご	み手数料			清掃手数料			6,53	7	14	

IV 業績指標

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	公害防止協定、	協定値の遵守		協定値以下	協定値以下	/	協定値以下	協定値以下	/	協定値以下	/	協定値以下	協定値以下
実績/目標				/		/			/		/		
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	ごみ焼却量		t	18,554/ 15,289	17586	/	14204	17780	/	17577	/	17325	12644
(アウトプット)		単位あたり	コスト	2.9		5.4			4.1				
実績/計画				/		/			/		/		
		単位あたり	コスト										

	事業担当所属内による自己評		
項目	評価の観点	評価	評価の理由
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、焼却処理において、法令の遵守と地 元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保した。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な修繕を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト縮減、効率化を図った。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアする。・活動実績はごみ焼却量としているが計画値を上回った。・有効な技術等を常に研究した。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか 体設の計画的な終業を行うことにより、ま中	で発生する	
			の旅でりこかの女だがう過じな「こか焼却」が刊なんだ。 余去を行ない法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。

事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	 ごみ焼却を安定かつ適正に処理を行なうと	L±.1- ±6	に効率化と終患の削減を図る
	このが、外部で文化が、ク画正に及って行るうこと	-010,00	「一つが、「「「」」「「「」」「「「」」「「」「」「「」「」「「」「」「」「」「」「」
これまでの課題及び 今後の方向性			
予後の方向性			
_ VI 二次評価((事業所属外による他部署評価)	
事後評価コメント			
VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の	□ 事業の見直し		
事業の見直し 及び	□ 統合/組換 □ 廃止/休止		
予算要求方針	□ 廃血/ 休止 □ 廃血/ 休止 □ 事業の見直しなし		
VⅢ 予算反映線	· 結果		
	□ 現状維持 □ 廃止/休止	☑予	算拡充 □ 予算縮減
予算反映結果	□) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: 一

(単位:千円)

4 >15,144														
事業名	3R(スリー	アール)推	進事業											
事業担当	所属	05050000	市民総務部	8 生活	環境課					所属	長 井上 和成	ţ		
会計情報	事業コード													頁
施策体系	施策コード	施策コード 040503 施策名 リサイクルとごみ処理対策を推進する												
計画期間	開始年度	平成15年	度 終了予	定年度	令和1	2年度	関連計画	名	福知山市一般廃棄物	処理基準	本計画			
根拠法令等	廃棄物の	処理及び清	掃に関する	法律										
事業区分	□ 法定受	託事務	☑ 国府初	助事業	Ø	市単独	事業 🗆	内部	部庶務的事業 口 その	の他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	止/休止	□ 他哥	事業へ紛	た合	□ 他事業	を統	充合					
関連事業														

事業基礎情	報						
	₹具等の修理再生品の販 ₹として再生利用する)に						返し使う)・リサイクル(資 とした社会を実現する。
対象者 全	市民			対象者数	77,122	単位あたりコスト	0.1
実施方法□	〕直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指5	定管理 🗆 補助金	交付 🗆	その他()
委託先·実施主体等 公	公益社団法人福知山市シ	ルバー人材センタ	ー・エコ美遊				
2	環境パークに持ち込ま ①展示販売品 ②修理ま 環境パークに持ち込ま ス細工や布リフォームな	再生家具の販売(れた再生利用可能	③衣類などの無償譲渡 をな廃棄物を活用し、リ	サイクルプラサ	f2階の体験コーナー ⁻		いて学習後、実際にガ
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	}	
需	用費	705	光熱水費、資材				
エの人口に係る	と務費	5	保険料				
業務内容と経費 委	託料	2,321	体験教室・リユースシ	ョップ運営委託	、家具修理再生委託		

Ⅲ 予算執行状況

	2	X	分分		21(評価前	「年度)		R2(評価年	F 度)		R3(本年)	隻)	R4(要3	求年度)		
	1	当	初予算			2,560			4,114			2,567			3,094	
予	2	補	正予算			0			0			0			0	
算情	3)繰	越予算			0			0			0			0	
報			前年度繰越			0			0			0			0	
			次年度繰越			0			0			0			0	
,	小言	#(1) ~ ③)			2,560			4,114			2,567			3,094	
予	1) <u> </u>	般財源			844			2,449			907			1,223	
算財	2	国	支出金			0			0			0				
源	3	府	支出金			1,280			1,262			1,308	1,			
内	4	地	方債			0			0			0			0	
訳	(5)) そ	の他特財			436			403			352			324	
決	1	流	充用額			0			0			0			0	
決算	2		当予算			2,560			4,114			0			0	
情 報	3	執	行額			2,526			3,031			0			0	
	4		行率			98.7%			73.7%							
人概	(1)) 従 ^王	事職員数	0.10	/	0.30	0.14	/	0.30	0.14	/	0.30	0.00	<u>/ </u>	0.00	
工算	2)概	算人件費			1,550			1,870			1,870			0	
卜一 (予算	草執?	タル _{行額+}	レコスト 概算人件費)			4,076			4,901			1,870			0	
	<u> </u>	-	H+ H+	3R推進事業(きょうと地域連			域連携交付金) 衛生費府補助金						8	28		
			用特財 隻実績値)	特財名称 リユースショップ			種類 物品売払収入			実績金額					頁	
				体験教室参加者材料費					雑入				27 48			

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	リサイクル率		%	17.3 / 22.6	16.4	/	25.3	14.7	/	25	/	16	25
実績/目標	一人当たりごる	み排出量	kg	154 /146	156	/	141	152	/	138	/	192.4	138
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	家具等の販売	数	点	281/320	320	/	320	293	/	320	/	320	320
(アウトプット)		単位あたり	コスト	9.7		7.9			10.3				
実績/計画	体験教室参加	者数	人	582 /660	472	/	660	423	/	660	/	660	660
		単位あたり	コスト	4.7		5.4			7.2				

	事業担当所属内による自己言	_	
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	・体験教室や家具販売には毎回多くの申込みがあり、ニーズはある。リサイクル啓発が目的であり、営利目的の事業者が実施するには適さない事業である。
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・環境パークはリサイクル可能なものが豊富に集まり、効率よくリサイクル品の提供やリサイクル教室が行える。委託先は、営利を目的としない団体である。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		・ごみ処理量の減少やリサイクル率上昇が重要であり、明確に把握できる指標である。
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		このだは主じが、シャプライブルデーデザル。主要であり、分配にていたとこの目標である。 ・他市との比較では、近隣では最も活発にリサイクル体験教室を実施している。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は	0	
	十分行われたか		
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価		À=	
これまでの課題及び 今後の方向性	・リサイクル品の販売数や体験教室参加者	数が目的で	るということを意識しながら、事業を進める必要がある。 だはなく、啓発効果の大きさが重要であり、本事業に参加した市民がごみ減量化及びリサイク より体験教室の冒頭に、教室の目的や3Rの重要性について、映像教材により学習してもらう
VI 二次評価(事業所属外による他部署評価	fi)	
事後評価コメント			
VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
I	方針区分 □ 事業の見直し		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換		
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止		
1 77 × 77 / 18	☑ 事業の見直しなし		
VIII 予算反映線			
予算反映結果	☑ 現状維持 □ 廃止/休止	口予	算拡充 □ 予算縮減
了开从队和不	□ 他事業を統合 (統合事業名: 一) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: 一)

7 1		工 業属性	中令和.	5 斗.	度事務事	茅評	価シー	.		(単位:千円)
		業名	第1期•第2期処分場埋立	整備事業						
		担当	所属 05050000 市民		活環境課		所属县	井上 和成		
		情報	事業コード 540123 款	04 衛生費	項 02 清掃費	目 02 じん芥		01 一般会計	決算付属資料	156 頁
		体系			イクルとごみ処理対策を推			10.2.10.1		
	計画	期間	開始年度 平成27年度	終了予定年月	度 令和13年度 関連計画	国名 一般廃棄	物処理基本計画、福	知山市循環型	社会形成推進地域	或計画【第2期
	根拠	去令等	廃棄物の処理及び清掃に	関する法律						
	事業	区分	□ 法定受託事務 🗸	国府補助事	業 ☑ 市単独事業 □] 内部庶務的	事業 □ その他	()
F	3現在	の状況	☑ 継続中 □ 廃止/体	木止 □ 1	也事業へ統合 □ 他事業	業を統合				
	関連	事業		· · · · · ·						
II	重	業基礎性	告報							
	(ある/	目的 べき姿)						I was to con-	(
		教者	全市民			対象者数	77,122	単位あたり	コスト	0.1
		方法	☑ 直接実施 □ 業務	务委託 [□ 指定管理 □ 補助領	金交付 □	〕その他 ()
委託	も先・身	E施主体等	·第1期·第2期埋立処分							
		概要 書き)								
			支出に係る主な費目	支出実績((R2)		主な業務内	容		
			工事請負費	1	0,113 第1期埋立処分場最	下流部の土堰	堤の築造及び遊水地	仮排水の整備		
ⅎ	な支む	出に係る								
		容と経費								
III	予	算執行	 犬況							
	区	分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年	度)
	1 4	á初予算		0		10,000		174,000		73,400
予	② 補	非正予算		0		0		0		C
算情	③ 総	· · · · · · · · · · · · · ·		0		0		0		C
報		前年度繰越		0		0		0		C
		次年度繰越		0		0		0		C
	小計((1)~(3)		0		10,000		174,000		73,400
予	① -	-般財源		0		2,500		18,934		5,567
算	2 3	支出金		0	0 44,666					23,333
財										

	区	分	F	21(評価前年	度)		R2(評価年	度)		R3(本年)	変)	R4(要3	求年度)	
	1 4	á初予算			0			10,000			174,000			73,400
予	② 有	正予算			0			0			0			0
予算情	③ 絲	乘越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			0
		次年度繰越			0			0			0			0
,	小計((1)~(3)			0			10,000			174,000			73,400
予	① -	-般財源			0			2,500			18,934			5,567
算	2 3	支出金			0			0			44,666		:	23,333
算財源	3 F	支出金			0			0			0			0
内	4均	也方債			0			7,500			110,400	44,5		
訳	⑤ そ	の他特財	0					0			0			0
*	1 7	充用額			0			159			0			0
決算	② 酉	己当予算			0			10,159			0			0
情報	3 \$	九行額			0			10,113			0			0
TIA		九行率						99.5%						
人概	① 従	事職員数	0.00	/	0.00	0.13	/	0.00	0.13	/	0.00	0.00	/ 0.	.00
工算	② 相	類人件費			0			1,040			1,040			0
卜一 (予算	ータ / ^{算執行額}	レコスト +概算人件費)			0			11,153			1,040			0
	→ +> z ı	m ++ ₽+		一般廃棄物	処理債			衛生債			7,50	0	52	
		用特財 度実績値)	特財名称				種類			実績金額		決算付属資料		頁
IV	業	績指標												

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	埋立増量		m³	7万 / 7万	0	/	0	-	/	1	/	8万	21万
実績/目標				/		/			/		/		
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	単年当たり事業	業進捗率	%	18 / 18	0	/	0	1	/	1	/	12	埋立完了
(アウトプット)	単位あたり		コスト	0.0					10113.0				
実績/計画	•			/		/			/		/		
	単位あたり		コスト										

V 一次評価((事業担当所属内による自己評	"価)	
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	 ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	0	・一般廃棄物の処理は市の責務であり、最終処分場の確保の必要性は高い。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	0	・新たな処分地の確保に比べ、現処分場の嵩上を行うことでコスト削減を図る。
有 効 性	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	0	・成果目標、活動目標については各年度の予定工事を実施し、段階的に埋立容量の拡大を図っていくことを目標としている。
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価	第1期・第2期埋立処分場エリアの嵩上整備た。	に伴い、第	1期埋立処分場の最下流の越水防止対策として、土堰堤の築造と遊水池・仮排水を整備し
これまでの課題及び 今後の方向性			間に、第1期・第2期の埋立が再開できるよう、事業進捗を促進する必要がある。 第4期埋立処分場整備計画を進めていく必要がある。
VI 二次評価(事業所属外による他部署評価	i)	
事後評価コメント			
VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分 □ 事業の見直し □ 統合/組換 □ 廃止/休止 ☑ 事業の見直しなし		評価を踏まえた見直し内容
VIII 予算反映網			
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止 □ 他事業を統合 (統合事業名: —	口予	算拡充 ☑ 予算縮減) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: —)

(単位:千円)

1 1 1/2/14/10														
事業名	清掃管理·	一般事業												
事業担当	所属	05050000	市民総務部	8 生活现	環境課					所属	長 井上 和成	ţ		
会計情報	事業コード	540119	款 04 衛生	主費	項 0	2 清掃	費	目	01 清掃総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	156	頁
施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイク	いとごみ	⊁処理	対策を推進	する	3					
計画期間	開始年度	昭和50年	度 終了予	定年度	令和3年	年度	関連計画	名						
根拠法令等														
事業区分	□ 法定受	託事務	□ 国府補	助事業	⊿ †	卜単独	事業 🗸	内部	部庶務的事業 口 その	の他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃.	止/休止	□ 他事	業へ統1	合	□ 他事業	を約	充合					
関連事業														

事業基礎	青報							
事業目的 (あるべき姿)	廃棄物処理等の市民サー 一般事務に要する予算を					こ進めることを目的として	いる。	
対象者	全市民			対象者数	77,122	単位あたりコスト	0.5	
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務	務委託 □ 指第	定管理 🗆 補助金	交付 🗆	その他()
委託先·実施主体等								
事業概要 (箇条書き)	-環境施策に関する調査[・全国都市清掃会議の年)		
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	3		
	旅費	106	普通旅費					
主な支出に係る	需用費	853	消耗品費、印刷製本費	ŧ				
業務内容と経費	役務費	742	電話・郵便代					
	使用料及び賃借料	1,244	コピー機リース料			·		
	負担金補助及び交付金	92	協会年会費	·			·	
ו היים כוב יילות פייי ווו	75. com	·	·		·	·		

Ⅲ 予算執行状況

	į	X	分分		1(評値	西前年	度)		R2(評価年	度)		R3(本年)	芰)	R4	要求年度	E)
	1	当	初予算				3,301			2,814			3,125			3,239
予	2	補	正予算				0			0			0			0
算情	3)繰	越予算				0			0			0			0
報			前年度繰越				0			0			0			0
			次年度繰越				0			0			0			0
,	小言	#(1)~(3)				3,301			2,814			3,125			3,239
予	1) —	般財源				3,301			2,814			2,218			2,431
第	2	国	支出金				0			0			0			0
算財源	3	府	支出金				0			0			0			0
内	4)地	方債				0			0			0			0
訳	(5)) そ	の他特財				0			0			907			808
決	1)流	充用額				0			223			0			0
決算	2	配	当予算				3,301			3,037			0			0
惰報	3	執	.行額				3,110			3,037			0			0
778	4		行率				94.2%			100.0%						
人概	1) 従:	事職員数	4.73		/	0.39	4.71	/	0.39	4.71	/	0.39	0.00	/	0.00
工算	2)概	算人件費				38,815			38,655			38,655			0
卜一 (予算	執	タル _{行額+}	レコスト 概算人件費)				41,925			41,692			38,655			0
			用特財 隻実績値)	特財名称					種類			実績金額		決算付属資	科	頁
(14		. – - 13	文人(家(世)													

|/ 業績指標

10 米限16份								
成學家績	指	標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
成果実績 (アウトカム)				/	/	/	/	
実績/目標				/	/	/	/	
	指	標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
活動実績	文書処理件数		件	826/700	886 / 700	886 / 700	/ 700	700以下
(アウトプット)		単位あたり	コスト	4.0	3.5	3.4		
実績/計画				/	/	/	/	
		単位あたり	コスト					

□ □ □ □ □		事 来 担 当 所 禹 内による目 亡 ā 評価の観点	アイ四 ノ 評価	評価の理由
- 現 日			AT 1M	・環境行政事務の円滑な実施のために必要な事業であり、市民サービスの充実につながっ
		市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		ている。事務を進める上で必要な事業である。
必要性	ŧ	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・コスト削減に努めることが必要であり、最低限の経費で済むよう事務の効率化などに心がけている。
効 率 性	ŧ	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		YT 年上 力 (古) 上 山 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・活動実績は文書処理件数としている。
有効性	ŧ	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
		円滑な事務執行や、市民サービスの充実の	いう目標の	」 達成状況を評価する適切な指標の設定が難しい。【定性的評価】
事業の目的及				
指標等の達成が 対する定性的				
		無駄をなくすため、必要な事務処理と必要	な経費の見	極めを行い、経費節減に努める。
これまでの課題	1767 K			
今後の方向				
 VI 二次記	 評価(事業所属外による他部署評価	5)	
事後評価コメ	ント			
 VII 評価な	シスす	 えた次年度事業方針		
711 - 1 1 1 1 1		方針区分		評価を踏まえた見直し内容
in w ma		□ 事業の見直し		
担当課の 事業の見直		□ 統合/組換		
及び 予算要求方:	솶	□ 廃止/休止		
		☑ 事業の見直しなし		
 VIII 予算 <i>B</i>	戸叶る	上里		
		ā 禾 ☑ 現状維持 □ 廃止/休止	□ ₹	算拡充 □ 予算縮減
予算反映結:	果	□ 他事業を統合 (統合事業名: 一	_ ,) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: —)

(単位:千円)

1 4 7/2/104 102		ごみ集団回収報奨事業												
事業名	資源ごみ	集団回収報:	奨事業											
事業担当	所属	05050000	市民総務部	生活環	竟課					所属	長 井上 和成	ţ		
会計情報	事業コード													
施策体系	施策コード	040503 施策名 リサイクルとごみ処理対策を推進する												
計画期間	開始年度													
根拠法令等	福知山市道	資源ごみ集	団回収団体	報奨金支	給要綱	đ								
事業区分	□ 法定受	託事務	☑ 国府補	助事業	口市	卜単独	事業 🗆	内部	部庶務的事業 🛘 その)他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	上/休止	□ 他事業	美へ統1	合	□ 他事業	を約	· 在合	•	•			
関連事業														

事業基礎作	 青報						
	各種市民団体の自主的な会、老人会などの団体に、 の大切さを認識している	よる回収活動を通し	て、子どもから高齢者				
対象者	全市民			対象者数	77,122	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☑ 直接実施 □ 業績	務委託 □ 指別	定管理 🗆 補助金	交付 🗆	その他()
委託先·実施主体等	登録団体						
	営利を目的としない団体(ごみ1kgあたり3円(廃食進める。						
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容		
	報償費	4,094	資源ごみ集団回収団	本報奨金			
主な支出に係る							
業務内容と経費							

|| 予算執行状況

	Z	5 分	F	21(評価前4	年度)	1	R2(評価年	度)		R3(本年原	筻)	R4(要3	求年度)	
	1	当初予算			5,475			4,928			4,780			5,459
予	2	補正予算			0			0			0			0
算情	3	繰越予算			0			0			0			C
報		前年度繰越			0			0			0			C
		次年度繰越			0			0			0			(
,	小計	h(1)~(3)			5,475			4,928			4,780			5,459
₹	1	一般財源			2,738			2,464			2,390			3,412
算財	2	国支出金			0			0			0			(
材 源	3	府支出金			2,737			2,464			2,390			2,047
内	4	地方債			0			0			0			C
訳	⑤	その他特財			0			0			0			(
3±.	1	流充用額			0			0			0			(
決算	2	配当予算			5,475			4,928			0			(
惰報	3	執行額			5,267			4,094			0			(
HX.	_				96.2%			83.1%						
概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.13	/	0.00	0.16	/	0.00	0.16	/	0.00	0.00	/ 0.	.00
算	2	概算人件費			1,040			1,280			1,280			C
		タルコスト (新典の) (対象・概算人件費)			6,307			5,374			1,280			C
		T11 071 4+ 0.1		資源ごみ集団回	収報奨事業(きょうと地域	連携交付金)		衛生費府補助:	金		2,02	2	28	
		利用特財 年度実績値)	特財名称				種類			実績金額		決算付属資料		頁

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	リサイクル率		%	17.3 / 22.6	16.4	/	25.3	14.7	/	25	/	16	25
実績/目標	年間1人当たり	ごみ排出量	kg	154 / 146	156	/	141	152	/	138	/	192.4	138
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	資源ごみ集団	回収量	t	1,846/ 2,809	1756	/	2843	1365	/	2882	/	1713	2882
(アウトプット)		単位あたり	コスト	3.0		3.0			3.0				
実績/計画				/		/			/		/		
	単位あたりコン		コスト			•			•				

V 一次評価(事業担当所属内による自	自己評価)	
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉え事業か ・民間事業者や市民が自ら実施するできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切を発作する。	ನ್ ^ವ ೭೬の O	・子ども会、PTAなど多くの団体が登録しており、この制度は市民に定着している。 ・この事業による回収量は、市全体の再資源化量に大きな割合を占めている。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか・コスト削減や効率化に向けた工夫	0	・集団回収により処理されることで、本市のコスト削減が図られる。
有 効 性	施されているか ・成果目標は理にかない、実績は通把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活 十分行われたか	0	・ごみ処理量の減少やリサイクル率上昇が重要であり、明確に把握できる指標である。 ・他の多くの市町村でも実施されており、その取組みを参考にしている。
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価			ごみの持込み量を減らすことに貢献しており、処理費用の削減やリサイクル率の向上につな 必要であるが、年々減少傾向にあるため、活動意欲を高めるための啓発等の方策を検討し
これまでの課題及び 今後の方向性	資源ごみ回収を実施する団体が減 り価格、及び他市町村の状況から糸		実施団体の増加や環境意識の向上を目指しながら、報奨金単価について、回収量、引き取 適なバランスについて検討する。
VI 二次評価(事後評価コメント	事業所属外による他部署	署評価)	
VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	□ 廃止/休止 傾	質向となり、集団回収	評価を踏まえた見直し内容 金単価3円/kgに引き下げ後、再資源物の全ての品目において市場の引き取り単価が下落の回収量が毎年減少していることから、平成29年までの水準(報奨金単価4円/kg)に戻し、助意欲を高め、一般廃棄物処理基本計画で定める「リサイクル・資源化の推進」を図る。
_ Ⅷ 予算反映網	洁果		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休」 □ 他事業を統合 ^{(統合事業名:}	止 口予!	算拡充 ☑ 予算縮減) □ 他事業へ統合 ^{(統合先事業名:} 一)

福知山市 今和3年度事務事業評価シート

(単位:千円)

1 事末間正														
事業名	不法投棄	防止パトロー	−ル事業											
事業担当	所属	05050000	市民総務	部 生活	環境課				所属:	長 井上 和原	ξ.			
会計情報	事業コード													
施策体系	施策コード	6策コード 040503 施策名 リサイクルとごみ処理対策を推進する												
計画期間	開始年度													
根拠法令等	廃棄物の	処理及び清	掃に関す	る法律										
事業区分	□ 法定受	託事務	☑国府	補助事業	口 市	単独事業 🗆	内	部庶務的事業 口 その	D他	()	
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	止/休止	□ 他到	事業へ統合	□ 他事業	を終	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
関連事業														
事業基礎	青報													
	市街地外	国部や山間	部でのス	法投棄が	後を絡たす	・地域環接へ	の暑	/ 響が縣令される						

事業基礎	青報													
事業目的 (あるべき姿)	市街地外周部や山間部で不法投棄の防止には、早市民生活の安心安全を図	期発見·早期対策				テうことにより、不法	投棄防止対策の充実と							
対象者	全市民			対象者数	77,122	単位あたりコスト	0.1							
実施方法	□ 直接実施 ☑ 業績	务委託 □ 指5	定管理 🗆 補助金	交付 🗆	その他()							
委託先·実施主体等	公益社団法人福知山市シ	・ルバー人材センタ	一・社会福祉法人しあ	わせネットワー	-ク									
事業概要 (箇条書き)	不法投棄が多い重点監視法投棄者の特定につなが					と、回収した不法投	集物の内容を調査し、不							
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	!								
	需用費	372	不法投棄防止看板											
主な支出に係る	委託料	芸託料 3,997 不法投棄防止パトロール委託												
業務内容と経費														
	_	·		·		·	·							

|| 予算執行状況

	X	分	F	21(評価前4	年度)		R2(評価年	度)		R3(本年原	隻)	R4(要3	求年度)	
	1	当初予算			4,004			4,037			4,049			4,330
予	2	補正予算			0			0			0			0
算情	3	繰越予算			0			0			0			C
報		前年度繰越			0			0			0			(
		次年度繰越			0			0			0			(
,	小計	+(① ~ ③)			4,004			4,037			4,049			4,330
₹	1	一般財源			2,002			2,019			2,025			2,165
算財	2	国支出金			0			0			0			(
可 原	3	府支出金			2,002			2,018			2,024			2,165
Ŋ	4	地方債			0			0			0			(
沢	⑤	その他特財			0			0			0			(
3±.	1	流充用額			36			339			0			(
決算	2	配当予算			4,040			4,376			0			(
惰報	3	執行額			4,015			4,369			0			C
HX	_				99.4%			99.8%						
、概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.18	/	0.04	0.03	/	0.04	0.03	/	0.04	0.00	/ 0.	.00
第	2	概算人件費			1,540			340			340			C
		マルコスト (預・概算人件費)			5,555			4,709			340			C
		T.I. T.I. 4+ D.1		不法投棄防止パ	トロール事業(きょうと地域	找連携交付金)		衛生費府補助	金		2,15	9	28	
		:利用特財 年度実績値)	特財名称				種類			実績金額		決算付属資料		頁

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	回収量		t	7 / 0	6	/	0	5	/	0	/	0	0
実績/目標				/		/			/		/		
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	パトロール回	汝	口	236 / 236	218	/	218	218	/	218	/	218	218
(アウトプット)		単位あたり	コスト	21.9		18.4			20.0				
実績/計画				/		/			/		/		
		単位あたり	コスト										

1	事業担当所属内による自己割	· ·	String Avenut
項目	評価の観点	評価	評価の理由
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		・ポイ捨てを含めた不法投棄の防止は生活環境の保全のためには必要性が高い。・自治会等による地域美化活動では、回収しきれない。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・成果目標、活動目標は最終的に不法投棄が無くなることを目標としている。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	パトロール活動は目標どおり実施し、不法技 	段棄ごみを[回収することで不法投棄行為を抑制し、生活環境の保全に努めたことは評価できる。
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	不法投棄が無くなることを目標としているが ロール活動により、回収を継続する必要が		回収と再発の繰り返しであり、効果的な対策を検討しつつ、生活環境の保全のためには、パト
これまでの課題及び			
今後の方向性			
VI 二次評価(事業所属外による他部署評価	j)	
事後評価コメント			
争仮計価コアノト			
 VII 評価をふま	 えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の	□ 事業の見直し		
事業の見直し	□ 統合/組換		
及び 予算要求方針	□廃止/休止		
	☑ 事業の見直しなし		
VⅢ 予算反映線	と果		
	□ 現状維持 □ 廃止/休止	☑ 予	算拡充 □ 予算縮減
予算反映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名: 一) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: 一

(単位:千円)

1 1 712/11/11													
事業名	環境衛生:	対策事業											
事業担当	所属	05050000	市民総務部	5 生活现	環境課				所属	長 井上 和成	ξ.		
会計情報	事業コード	520130 款 04 衛生費 項 01 保健衛生費 目 03 環境衛生費 会計 01 一般会計 決算付属資料 148 頁											
施策体系	施策コード	040101	施策名	災害に対	対する危機対	応力を強化	する)					
計画期間	開始年度	平成元年	度 終了予	定年度	令和3年度	関連計画	名						
根拠法令等													
事業区分	□ 法定受	託事務	□ 国府補	助事業	☑ 市単独	は事業 □	内部	部庶務的事業 口 ぞ	の他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□廃」	上/休止	□ 他事	業へ統合	□ 他事業	を紛	t 合					
関連事業													

事業基礎	青報												
事業目的 (あるべき姿)	災害に備えて衛生消毒 生状態を良好に保つ。 また、蜂の駆除を行う市						D防止に努め市民の衛						
対象者	全市民			対象者数	77,122	単位あたりコスト	0.0						
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務	接実施 □ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助金交付 □ その他 ()											
委託先·実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	災害に備えた衛生消毒 衛生消毒液の備蓄・更業 災害発生後の衛生消毒 蜂駆除防護服の貸し出し	f 業務											
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	}							
	需用費	4	消耗品費										
主な支出に係る													
業務内容と経費													

Ⅲ 予算執行状況

	Þ	3 分		1(評価	前年度)			R2(評価年	度)		R3(本年)	変)	R4(要求年度)
	1	当初予算			5	87			468			393			810
予	2	補正予算				0			0			0			0
算情	3	繰越予算				0			0			0			0
報		前年度繰越				0			0			0			0
		次年度繰越				0			0			0			0
,	小言	†(1 ~ 3)			5	87			468			393			810
予	1	一般財源			5	87			468			393			810
算財源	<u> </u>	国支出金				0			0			0			0
源		府支出金				0			0			0			0
内	\vdash	地方債				0			0			0			0
訳	(5)	その他特財				0			0			0			0
決	1	流充用額			Δ	47			0			0			0
決算	_	配当予算			5	40			468			0			0
情報	-	執行額				83			4			0			0
	_	執行率			15	4%			0.9%						
人概	(1)	従事職員数 (正職員/概託職員)) 概算人件費	0.07	/	0.00	(0.06	/	0.00	0.06	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費			5	60			480			480			0
		タルコスト 行額+概算人件費)			6	43			484			480			0
		以利用特財	特財名称					種類			実績金額		 決算付属資	#1	頁
(N	- 1	年度実績値)	14 M L M 141					11 75			大製业額		○ 八升 □ 両貝	7*1	

IV 業績指標

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)				/		/			/		/		
実績/目標				/		/			/		/		
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動室籍	蜂駆除防護服	貸出件数	件	29	106	/	0	40	/	0	/	0	
活動実績(アウトプット)		単位あたり	コスト	23.6		8.0			0.1				
実績/計画	消毒実施件数		件	758	0	/	0	0	/	0	/	0	
		単位あたり	コスト	0.9									

項	日	、争 耒 担 当 所 禹 内 による目 □ ミ 	ディーグ 評価	評価の理由
坝	-		ET IM	・災害に備えるために必要な事業である。
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		入口に開たむためたが女な手术とのも。
必	要 性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か) 0	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・災害に備えた準備を行うことで、災害に対する早期対応が図れる。
効	率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・災害の規模も発生も予想できないが、定量の備蓄を行うことは災害の早期対応に有効で ある。
有	効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
		災害に備え衛生消毒剤の備蓄と消毒機器 豪雨や台風による災害で発生した浸水被 蜂の駆除を行う市民に対し、防護服を貸し 【定性的評価】	害に対し、消	毒作業の早期対応することができた。
指標等の	目的及び 達成状況に 2性的評価			
		予期せぬ災害に備え消毒薬の備蓄と消毒 蜂駆除防護服の適正な更新により維持管		
これまで	の課題及び			
	の方向性			
	上次評価(事業所属外による他部署評価	西)	
事後評	価コメント			
\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		2 la v2, der uder vehr MA la h2		<u></u>
《 IIV	*価をふま	えた次年度事業方針		
		方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当	当課の	□ 事業の見直し		
	の見直し 及び	□統合/組換		
	要求方針	□ 廃止/休止 ☑ 事業の見直しなし		
VIII ₹	予算反映 線	結果		
予算局	支映結果	☑ 現状維持 □ 廃止/休止	口予	算拡充 □ 予算縮減
. 51.40		□ 他事業を統合 (統合事業名: -) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: 一)

(単位:千円)

事業名	環境保全-	一般事業(生	活環境課)										
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課 所属長 井上 和成											
会計情報	事業コード	520121	520121 款 04 衛生費 項 01 保健衛生費 目 05 環境保全費 会計 01 一般会計 決算付属資料 154 頁										
施策体系	施策コード	040502	施策名	公害対策	策を充実させ	3							
計画期間	開始年度	平成16年	度終了予	定年度	令和4年度	関連計画	名	第2期福知山市環境基	基本計画	Ī			
根拠法令等	環境基本	去、公害紛争	净処理法、 。	隆音規制	法、悪臭防止	法、水質汚	濁	方止法、福知山市附属	機関設	置条例			
事業区分	☑ 法定受	託事務	□ 国府補	i助事業	☑ 市単独	事業 🗆	内	部庶務的事業 口 その	D他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	上/休止	□ 他事	業へ統合	□ 他事業	を給	充合				•	
関連事業		•		·		•		•				•	

Ⅱ 事業基礎作	青報	教 「民、事業者の環境意識を高めて、環境保全の進んだまちとする。											
事業目的 (あるべき姿)	市民、事業者の環境意識環境公害発生時には、その												
対象者	全市民			対象者数	77,122	単位あたりコスト	0.2						
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務												
委託先·実施主体等	(一社)京都微生物研究所	社)京都微生物研究所・ダイワエンジニアリング㈱播磨分析センター・㈱環境テクノス											
事業概要 (箇条書き)	環境パーク施設見学、環 公害苦情発生時に現地 事業所の公害発生施設設 市内で大気汚染、水質汚 騒音規制法第18条に基づ に面する地域の騒音暴露	査、発生源への指 設置届出に関して、 濁、悪臭公害が懸 き、市内幹線道路	導等の苦情処理を行法令に基づき指導、受 法令に基づき指導、受 念される地域において	う。 理する。 環境測定を行	い、状況を監視する。		Eする騒音に対して道路						
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容								
	報酬												
エるスローボン	報償費	賞費 25 委員謝礼(環境保全委員会)											
業務内容と経費	旅費	9	研修·普通旅費										
	需用費	費 46 消耗品費											
	委託料	1,109	環境測定委託										

Ⅲ 予算執行状況

		分		1(評値	面前年	度)		R2(評価年	度)		R3(本年)	変)	R4	(要求年度	篗)	
(1) #	á初予算				1,623			1,707			3,085			2,0	80
Ç	2) 補	非正予算				0			0			0				0
(3) 約	桑越予算				0			0			0				0
		前年度繰越				0			0			0				0
		次年度繰越				0			0			0				0
小	計((1)~(3)				1,623			1,707			3,085			2,0	80
(D -	-般財源				1,623			1,707			3,085			2,0	80
(2) ቜ	支出金				0			0			0				0
_						0			0			0				0
-		也方債				0			0			0				0
(5) そ	の他特財				0			0			0				0
(① 济	充用額				656			△ 54			0				0
(2) 酉	己当予算				2,279			1,653			0				0
(3	九行額				1,311			1,229			0				0
(57.5%			74.3%							
t l`	D 従	:事職員数 :職員/嘱託職員)	1.47		/	0.00	1.48	/	0.00	1.48	/	0.00	0.00	/	0.00	
L (2) 根	類人件費				11,760			11,840			11,840				0
算報	·タノ ^{執行額}	レコスト +概算人件費)				13,071			13,069			11,840				0
			特財名称					種類			実績金額		決算付属資	登料		lm/
		2 有 素 が は で は で は で は で は で は で は で は で は で は	① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度機越 次年度機越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予算 ③ 執行率	① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度機越 2 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予算 ③ 執行報 ④ 執行率 ② 配当予算 ② 執行報 ④ 執行率 ② 概算人件費 主な利用特財 ***********************************	① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予算 ③ 執行額 ④ 執行率 【① 従事職員数 ④ 執行率 【② 概算人件費 一タルコスト 章執行額・概算人件費 主な利用特財 まは取名	① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予算 ③ 執行額 ④ 執行率 ② 批事職員数 ② 報算人件費	① 当初予算 1,623 ② 補正予算 0 ③ 繰越予算 0 前年度線越 0 次年度線越 0 小計(①~③) 1,623 ② 国支出金 0 ③ 府支出金 0 ④ 地方債 0 ⑤ その他特財 0 ① 流充用額 656 ② 配当予算 2,279 ③ 執行額 1,311 ④ 執行率 57.5% ② 概算人件費 11,760 一タルコスト	① 当初予算 1,623 ② 補正予算 0 ③ 繰越予算 0 前年度線越 0 次年度線越 0 小計(①~③) 1,623 ① 一般財源 1,623 ② 国支出金 0 ④ 地方債 0 ⑤ その他特財 0 ① 流充用額 656 ② 配当予算 2,279 ③ 執行額 1,311 ④ 執行率 57.5% 註 ① 從事職員数 1.47 / 0.00 1.48 ② 概算人件費 11,760 一夕ルコスト	① 当初予算 1,623 ② 補正予算 0 ③ 繰越予算 0 前年度線越 0 次年度線越 0 小計(①~③) 1,623 ① 一般財源 1,623 ② 国支出金 0 ④ 地方債 0 ⑤ その他特財 0 ① 流充用額 656 ② 配当予算 2,279 ③ 執行額 1,311 ④ 執行率 57.5% ② 概算人件費 11,760 一夕ルコスト 章執行額・概算人件費 13,071 主な利用特財 株計算板	① 当初予算 1,623 1,707 ② 補正予算 0 0 ③ 繰越予算 0 0 前年度線越 0 0 次年度線越 0 0 小計(①~③) 1,623 1,707 ② 国支出金 0 0 ③ 府支出金 0 0 ④ 地方債 0 0 ⑤ その他特財 0 0 ① 流充用額 656 △ 54 ② 配当予算 2,279 1,653 ③ 執行額 1,311 1,229 ④ 執行率 57.5% 74.3% ② 概算人件費 11,760 11,840 上 数別一件費 13,071 13,069 主な利用特財 株計及所 株計及所 13,071 主な利用特財 株計及所 13,069	1 当初予算 1,623 1,707 ② 補正予算 0 0 0 ③ 繰越予算 0 0 0 前年度繰越 0 0 0 小計(①~③) 1,623 1,707 ① 一般財源 1,623 1,707 ② 国支出金 0 0 0 ④ 地方債 0 0 0 ④ 地方債 0 0 0 ⑤ その他特財 0 0 0 ① 流充用額 656 △ 54 ② 配当予算 2,279 1,653 ③ 執行額 1,311 1,229 ④ 執行率 57.5% 74.3% ② 概算人件費 11,760 11,840 - タルコスト 章執行額・概算人件費 13,071 13,069 章執行額・概算人件費 13,071 13,069	当初予算	当初予算	1 当初予算 1,623 1,707 3,085 ② 補正予算 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	① 当初予算 1,623 1,707 3,085 ② 補正予算 0 0 0 0 ③ 繰越予算 0 0 0 0 前年度線起 0 0 0 0 0 小計(①~③) 1,623 1,707 3,085 ① 国支出金 0 0 0 0 0 ③ 府支出金 0 0 0 0 0 ④ 地方債 0 0 0 0 0 ④ 地方債 0 0 0 0 0 ⑤ その他特財 0 0 0 0 0 ① 流充用額 656 △ 54 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	① 当初予算 1,623 1,707 3,085 2,0 ② 補正予算 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	事業所公害苦	情発生件数	件	7 / 22	16	/	22	19	/	22	/	22	22以下
実績/目標						/			/		/		
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	環境測定箇所	数	箇所	15 / 15	14	/	14	12	/	12	/	12	全必要箇所
(アウトプット)		単位あたり	コスト	13.3		93.6			102.4				
実績/計画						/			/		/		
		単位あたり	コスト										

V _ 一次評価((事業担当所属内による自己評	価)	
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	0	・公害苦情処理は、法令に基づき行政で実施する必要がある。公害に苦しむ市民の要求に応えるものであり、優先度は高い。市民への啓発も必要である。・環境測定は、環境公害について以前より懸案となっている地域において、実施するものであり、市民ニーズに応えるものである。騒音については、国の法定受託事務である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	0	・環境保全の啓発資材や環境対策関連会議の旅費など最低限必要な経費のみである。啓発活動は、費用のかからない施設の利用などコスト削減に取り組んでいる。 ・環境測定には国家資格や高価な測定機器が必要であり、業者委託が最も効率がよい。 ・委託価格も、市販の積算図書の価格以下であり、妥当な価格である。
有 効 性	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	0	・成果目標は、過去の実績から設定した目標である。 ・府下の公害苦情担当者会議などで他市の公害事象などの情報交換を行っている。 ・環境測定は、測定時期、場所などは、地元希望も聞きながら行っている。
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価	第4次総合計画策定時の実績から事業所なただし、法に抵触していない案件が多く、完		生件数の指標を設定しているが、事業所に対する市への苦情件数は目標を達成できている。 きず継続となる案件が増える傾向にある。
これまでの課題及び 今後の方向性	要であり、市民一人ひとりの実践も重要であ どれだけの成果があったかについての判断 政指導ができず、事業者努力を促す継続案 ・測定結果が毎年基準値内であることを確言	るため、引 が難しい部 件となり、 忍し、最終的	あり、継続して取り組まなければならないが、市民・事業者側の環境保全に対する意識も重き続き環境保全への取り組みを強めていく必要がある。ただ、取り組みの結果については、 らかもあるが、公害苦情については、法令違反を明確に確認できない事例が多くあり、強い行 は本的な解決に及んでいないケースが増えていることが課題である。 切には地元住民の不安を完全になくしていきたい。 その環境対策の強化、低公害型設備の導入などを指導していくこととする。
VI 二次評価((事業所属外による他部署評価	i)	
事後評価コメント			
 VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分 □ 事業の見直し □ 統合/組換 □ 廃止/休止 ☑ 事業の見直しなし		評価を踏まえた見直し内容
VⅢ 予算反映	結果		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止 □ 他事業を統合 (統合事業名: ー	口予	算拡充 ☑ 予算縮減) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: —)

(単位:千円)

. 4 /14.1.4 1-														
事業名	公衆便所領	衆便所管理事業												
事業担当	所属	所属 05050000 市民総務部 生活環境課 所属長 井上 和成												
会計情報	事業コード	業コード 520118 款 04 衛生費 項 01 保健衛生費 目 03 環境衛生費 会計 01 一般会計 決算付属資料 148 頁												
施策体系	施策コード	策コード 030502 施策名 下水道等を適切に維持管理する												
計画期間	開始年度	始年度 昭和28年度 終了予定年度 令和3年度 関連計画名												
根拠法令等	廃棄物の	処理及び清	掃に関する	法律第5	条第6	項								
事業区分	□ 法定受	」法定受託事務 □ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 ()												
R3現在の状況	☑ 継続中	継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合												
関連事業			•	•			•			•				

事業基礎性	背報												
事業目的 (あるべき姿)	公衆トイレ(岡ノ二・内記プ	衆トイレ(岡ノ二・内記六丁目及び野家)の清潔保持に努め、市民その他の利用に供することで、市民の衛生環境を保全する。											
対象者	全市民	5民 対象者数 77,122 単位あたりコスト 0.0											
実施方法	□ 直接実施 ☑ 業績												
委託先·実施主体等		社団法人福知山市シルバー人材センターほか											
事業概要 (箇条書き)	公衆トイレの清掃委託、旅	★ トイレの清掃委託、施設修繕。											
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	1							
	需用費	208	光熱水費										
主な支出に係る	委託料	333	清掃委託										
業務内容と経費													

Ⅲ 予算執行状況

- 111	Ę	了		1(評価前	年度)		R2(評価年	度)		R3(本年)	変)	R4(要求年度)				
	1)当初予算			553			559			491			621		
予	2)補正予算			0			0			0	0				
算情	3) 繰越予算			0			0			0					
報		前年度繰越			0			0			0					
		次年度繰越		0				0			0			0		
,		it(①~③)	553					559			491			621		
予	1		553					559			491			621		
算	_	国支出金	0				0							0		
財源	_	府支出金	0					0			0					
内訳	_) 地方債	0					0			0			0		
D/\	5		0					0			0			0		
決算	-	流充用額			0			0			0			0		
		配当予算			553			559			0					
情報	\vdash	執行額			495			541			0			0		
		執行率			89.6%			96.8%								
人概	0	(正職員/順託職員)	0.07	/	0.00	0.08	/	0.00	0.08	/	0.00	0.00		0.00		
	_)概算人件費			560			640			640			0		
卜 - (予算	執	タルコスト 行額+概算人件費)			1,055			1,181			640			0		
,	+ +	分别田特財														
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称				種類			実績金額		決算付属資 —	【料	頁			

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	公衆トイレ数	トイレ数		3	3	/	3	3	/	3	/		1
実績/目標				/		/			/		/		
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動室籍	稼動日数		日	349	366	/	366	365	/	365	/	365	365
活動実績 (アウトプット)		単位あたり	コスト	1.7		1.4			1.5				
実績/計画				/		/			/		/		
		単位あたり	コスト										

□ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	、争 美 担 当 所 偶 内による目 □ 計 評価の観点	評価	評価の理由
74 1		рт ім	・公衆便所の管理は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条第6項「市町村は、必要
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		と認める場所に公衆便所及び公衆用ごみ容器を設け、これを衛生的に維持管理しなければならない。」に基づく事業である。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・公衆トイレにおける定期的な清掃及び不具合等のチェックを行うことで、衛生的な維持管理が図れる。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・公衆トイレの清潔保持に努め、市民その他の利用に供することで、市民の衛生環境の保全が図れている。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	公衆トイレの清潔保持に努め、市民その他	に対して公	衆トイレの利用を供することができた。
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	引き続き市民その他に対して公衆トイレの和	利用を供す	るため、継続して衛生的に維持管理を行う。
これまでの課題及び			
今後の方向性			
VI 二次評価(事業所属外による他部署評価	5)	
事後評価コメント			
争後計価コアノト			
· VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の	□ 事業の見直し		
事業の見直し	□ 統合/組換		
及び 予算要求方針	□廃止/休止		
	☑ 事業の見直しなし		
VⅢ 予算反映線	· 結果		
	□ 現状維持 □ 廃止/休止	☑予	算拡充 □ 予算縮減
予算反映結果	 □ 他事業を統合 (統合事業名: -) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: 一)

(単位:千円)

事業名	狂犬病予	坊注射接種	事業										
事業担当	所属	属 05050000 市民総務部 生活環境課 所属長 井上 和成											
会計情報	事業コード	520115 款 04 衛生費 項 01 保健衛生費 目 03 環境衛生費 会計 01 一般会計 決算付属資料 148 頁											
施策体系	施策コード	策コード 040403 施策名 人と自然が共生する社会を推進する											
計画期間	開始年度	丰度 昭和25年度 終了予定年度 令和3年度 関連計画名 —											
根拠法令等	狂犬病予	防法											
事業区分	☑ 法定受	! 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 □ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 ())											
R3現在の状況	☑ 継続中	1 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合											
関連事業		•	•								•		

事業基礎													
事業目的 (あるべき姿)	狂犬病予防法に基づく狂	犬病の予防接種を	実施し、市民の安心安	全な生活を図	ప .								
対象者	市内で飼育されている犬	内で飼育されている犬 対象者数 約4,200頭 単位あたりコスト 0.3											
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業績	直接実施 ☑ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助金交付 □ その他 ()											
委託先·実施主体等	京都府獣医師会へ一部委												
事業概要 (箇条書き)	○狂犬病の予防接種の委	代の登録管理 D狂犬病の予防接種の委託。 D定期集合狂犬病予防注射の実施。											
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容								
	報酬·手当	684	臨時職員報酬•手当										
主な支出に係る	旅費	2	普通旅費										
業務内容と経費	需用費	148	注射済証、犬鑑札他										
	役務費	301	郵送料										
	委託料 695 京都府獣医師会事務委託												

Ⅲ 予算執行状況

	2	5 分	F	R1(評価前	年度)		R2(評価年	度)		R3(本年)	隻)	R4(要x	大年度)			
	1	当初予算			2,870			2,015			1,957			2,817		
予	2	補正予算			0		0 0						0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			0		
報		前年度繰越			0	0 0						0				
		次年度繰越		0				0			0			C		
,	小計	†(①~ ③)	2,870					2,015			1,957			2,817		
₹	1	一般財源	170					0			0			122		
ļ.	2	国支出金	0					0			0	2,516				
け 原	3	府支出金	195					192			175			179		
内	4	地方債	0					0			0			C		
R	(5)	その他特財	2,505					1,823			1,782			C		
.	1	流充用額			47		0							C		
夬 庫	2	配当予算			2,917			2,015			0	C				
青椒	3	執行額			2,666			1,830			0			C		
RIX.	4	執行率			91.4%			90.8%								
概	1	従事職員数 (正職員/順託職員)	0.25	/	0.00	0.18	/	0.00	0.18	/	0.00	0.00	/ 0.	.00		
算	2	概算人件費			2,000			1,440			1,440			0		
卜- (予算	— 集執行	タルコスト 対象+概算人件費)			4,666			3,270			1,440			O		
	↑ /> 和 田 性 肚	狂犬病予	防接種注射手数制	料		衛生手数料			88	1	14					
		特財名称	狂犬病予	防接種犬新規登録	禄手数料	種類	衛生手数料		実績金額	770	決算付属資料	14	頁			
		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		動物管理	指導費			衛生費府補助金	金		179	9	28			

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	予防接種率		%	78	77	/	85	72	/	100	/	100	100
実績/目標				/		/			/		/		
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	予防接種頭数		頭	3174	3125	/	4200	3030	/	4200	/	4200	4200
(アウトプット)		単位あたり	コスト	0.8		0.9			0.6				
実績/計画	_			/		/			/		/		
		単位あたり	コスト										

	事業担当所属内による自己評		
項目	評価の観点	評価	評価の理由
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		・狂犬病予防法により、狂犬病の感染拡大を阻止する必要がある。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・登録者への案内方法等、低コストで実施できるよう検討を行っている。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・予防接種率100%を達成、維持することが狂犬病予防法の目的に沿うものである。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	狂大病予防汪射接種率は京都府全体では め、100%接種を目標に接種率の向上のた		となっているが、本市では約80%と高い水準を保っている。しかし、毎年微減傾向にあるた 広報等の充実が必要である。
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	4月に集合注射を実施しており、件数は毎年 の注射件数を含め、全体の注射率を上げる		度となっている。京都府内の市町村の中では集合注射の実施頭数が一番多いが、開業医で まを検討する必要がある。
これまでの課題及び 今後の方向性			
 VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)	
事後評価コメント			
 VII 評価をふま	 えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の	□ 事業の見直し		
事業の見直し	□ 統合/組換		
及び 予算要求方針	□廃止/休止		
	☑ 事業の見直しなし		
VⅢ 予算反映系	· 結果		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	☑予	算拡充 □ 予算縮減
A STANDAR	□ 他事業を統合 (統合事業名: -) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: 一)